

このたびは、ワイヤレス受信機をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

ご使用前に、必ずこの取扱説明書の「安全上のご注意」と取扱方法に関する説明をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。この取扱説明書はお読みになりましたら大切に保管し、後日わからないことがあれば再びご覧ください。

もくじ

商品概要.....	2
付属品をご確認ください.....	2
別売品について.....	2
安全上のご注意.....	3
取扱上のお願ひ.....	5
各部の名前と説明.....	6
トークA,B 出力の使いかた.....	10
トークA 出力の使いかた.....	11
トークB 出力の使いかた.....	12
操作のしかた.....	13
接続のしかた.....	
■ 2チャンネルダイバシティ受信方式の場合.....	14
■ 4チャンネルダイバシティ受信方式の場合.....	15
■ 6チャンネルダイバシティ受信方式の場合.....	16
■ 12チャンネルダイバシティ受信方式の場合.....	17
増設入力について.....	20
アンテナについて.....	22
フィールド・アンテナ感度の設定.....	23
受信するグループ・チャンネルについて.....	24
リモートマイクについて.....	26
チューナユニットの取り付け.....	28
予備出力について.....	30
B 外部入力、B 優先入力について.....	31
故障と思われましたら.....	32
ラックマウントのしかた.....	33
ブロックダイヤグラム.....	34
定格.....	35
外観寸法図.....	36

このたびは、ワイヤレス受信機をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

商品概要

本機は、ワイヤレスマイクWM-C802(別売品)専用の800MHz 帯ダイバシティワイヤレス受信機です。

- ワイヤレスマイクのトークスイッチA,B 2系統の音声を出力することができます。
- ダイバシティ方式を採用しており、 α - β 各2入力のアンテナによって電波の受信を確実にしてデッドポイントを低減します。
- 工場出荷時にはチューナユニットが2台装着されています。
- 増設用チューナユニット DU-C800(別売品)を4台まで増設できます。
- 受信機本体から α 、 β 各2台のアンテナ感度をリモートコントロールすることができます。

付属品をご確認ください

複式プラグ	1	取扱説明書(本書／保証書付)	1
単式プラグ	1		
小形ドライバ	1		

別売品について

(品番は、2000 年8月現在のものです)

ワイヤレスマイクロホン	WM-C802
チューナユニット	DU-C800
ワイヤレスアンテナ	AA-C801 / AA-C802
リモートマイク	TM-C102A

安全上のご注意

必ずお守りください

- ご使用の前に必ず、この取扱説明書の「安全上のご注意」と取扱方法に関する説明をよくお読みの上、正しくお使いください。
- お読みになったあとは、必ず保存してください。

安全に正しくお使いいただくために

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△記号は注意(危険・警告)を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容(左図の場合は感電注意)が描かれています。



○記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な注意内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。



●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け)が描かれています。

警告

異常が起きたときは、ただちに使用をやめる

煙が出ている、においや音がする、水や異物が入った、落として破損したなど、火災・感電の原因となります。ただちに電源プラグをコンセントから抜いて、販売店などにご連絡ください。



プラグをコンセントから抜け

分解／改造はしない

火災・感電の原因となります。修理や点検は、販売店などにご依頼ください。



異物を入れない

水や金属が内部に入ると、火災・感電の原因となります。ただちに電源プラグをコンセントから抜いて、販売店などにご連絡ください。



通風孔をふさがない

通風孔をふさぐ、ものをのせたり通風を悪くすると内部に熱がこもり火災の原因となります。



電源コードを傷つけない

電源コードの上に重いものをのせたり、無理に曲げたり、ねじったり、引張ったり、熱器具に近づけたりすると、火災・感電の原因となります。電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線)販売店などに交換をご依頼ください。



表示された電源電圧以外の電圧で使用しない

火災・感電の原因となります。



雷が鳴り出したら、接続コードや電源プラグには触れない

感電の原因となります。



はじめに

安全上のご注意

必ずお守りください

⚠ 注意	
湿気やほこりの多い場所、油煙や湯気が当たるような場所に置かない 火災・感電の原因となることがあります。	
不安定な場所に置かない 落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。	
工事は工事店に依頼する 工事には、技術と経験が必要です。火災・感電、けが、器物損壊の原因となります。工事店にご相談ください。	
濡れた手で、電源プラグを抜き差しはしない 感電の原因となります。	
お手入れの際は電源プラグをコンセントから抜く 感電の原因となることがあります。	
電源プラグは根元まで確実に差し込む 差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因となります。	
電源プラグのほこり等は定期的にとる プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因となります	
電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない コードが傷つき、火災、感電の原因となります。必ずプラグを持って抜いてください。	
移動するときは、コード類を傷つけない 火災、感電の原因となることがあります。移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードをはずしてからおこなってください。	
この機器に乗ったり、ぶら下がったりしない 特にお子様にはご注意ください。倒れたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。	
テレビ、オーディオ機器、ビデオ機器、スピーカなどの機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。又接続が終わりましたら、必ず端子カバーを取り付けてください。感電の原因となることがあります。	
1年に一度くらいは内部の掃除を工事店などにご相談ください。内部にほこりのたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨時の前に行くと、より効果的です。なお、掃除費用については工事店などにご相談ください。	

取扱上のお願い

「安全上のご注意」と合わせて、以下のこともお守りください。

■使用上のお願い

●ご使用電源は

AC 100Vです。ご使用後は必ず電源スイッチを「切」にしてください。

●設置場所は

直射日光の当たる所や温風吹出口近くは避けてください。

また、湿気・ほこりおよび振動の多い場所に設置すると故障の原因になることがあります。

●アンテナは

●専用アンテナAA-C801、AA-C802(別売品)をご使用ください。

●十分なダイバシティ効果を得るために、2本のアンテナ間隔は5～20m以内にしてください。

●近くの妨害電波を避けて

同じ周波数の妨害電波、高周波を使う機器が近くにないことを確認してください。

やむをえず雑音源の近くでご使用になる場合は、ワイヤレスマイクとワイヤレスアンテナの距離は使用範囲最大距離(23ページ参照)の1/2以下の距離でご使用ください。

なお、最小距離以内に近づくと、使用していないチャンネルへの飛び込みや混信などが発生することがあります。また、テレビなどの送信所の送信アンテナの直下では到達距離が短くなる場合があります。

●周波数は

●ワイヤレスマイクと受信機の周波数は合わせてご使用ください。

●本機は、ワイヤレス受信機WTD-8121,8141とトーン周波数は異なりますが、同一のグループ、チャンネル周波数帯を使用しています。WTD-8121,8141と同一空間で使用する場合、同一グループで使用し運用できるチャンネル数は最大6波です。

●マイクロホンは

●専用マイクロホンWM-C802(別売品)をご使用ください。

●B型ユニパックスマイクロホン、WM-8000シリーズはWM-C802とトーン周波数が異なるため受信できません。

●マイクロホン同士は、50cm以上離してください。

■お手入れについて

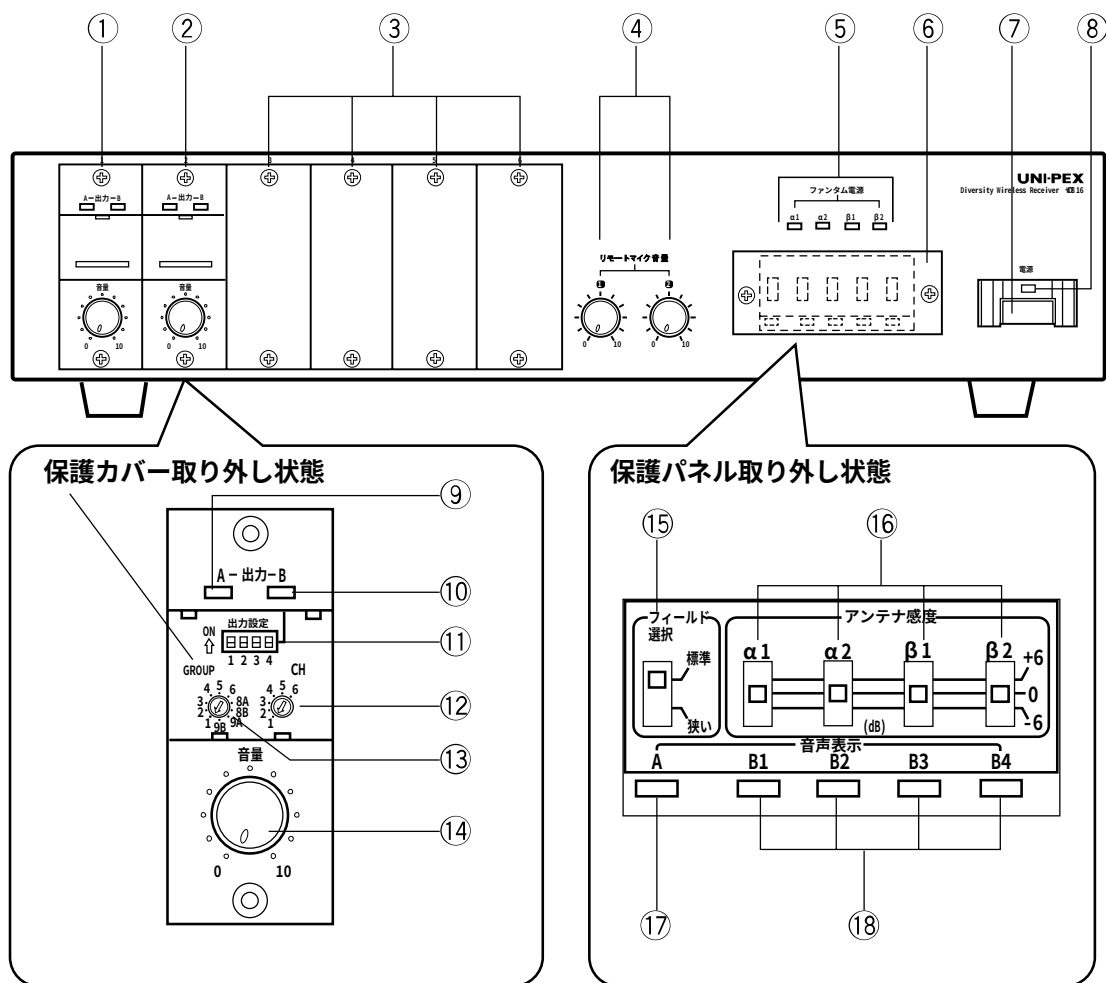
●電源を切り、乾いた布で拭いてください。ほこりが取れにくいときは、薄めた台所用洗剤をやわらかい布に浸み込ませ、よくしぼり軽く拭いてください。

●ベンジン、シンナーなど揮発性ものは使用しないでください。

●化学ぞうきんをご使用の際はその注意書に従ってください。

各部の名前と説明

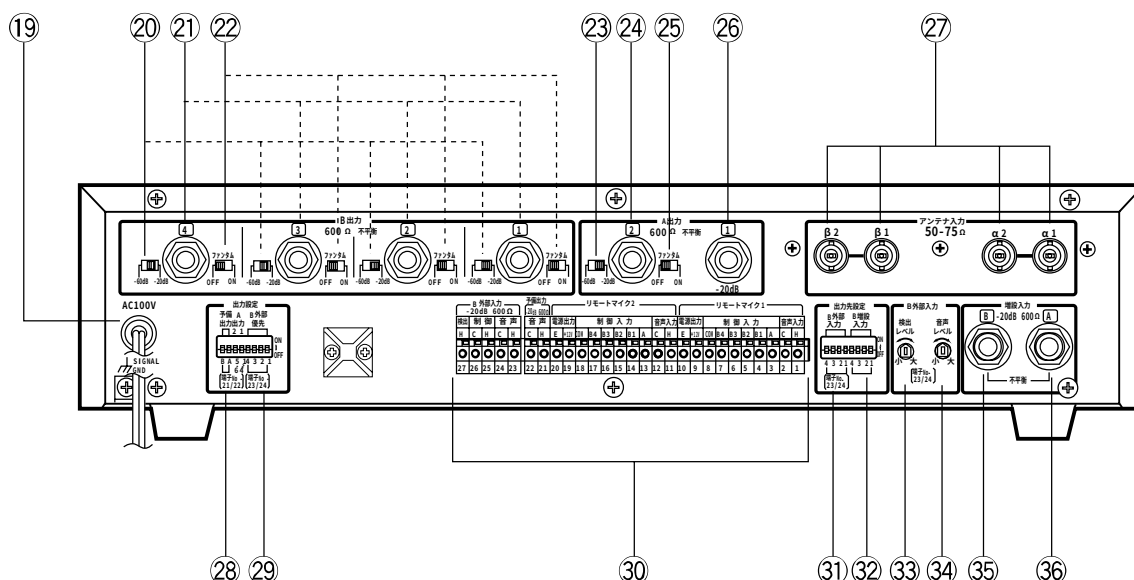
■前面



- ①チューナユニット1 [1]
工場出荷時は、1グループ 1チャンネルに設定されています。
- ②チューナユニット2 [2]
工場出荷時は、1グループ 2チャンネルに設定されています。
- ③増設チューナユニット(3,4,5,6)装着部 [3,4,5,6]
チューナユニットDU-C800(別売品)を4台まで増設できます。前面左側から3,4,5,6になります。
チューナユニット装着場所により、A1,2 出力先を選択できます。(19ページ参照)
工場出荷時は、ブランクパネルが装着されています。(28ページ参照)
- ④リモートマイク音量調節つまみ
[リモートマイク音量 1,2]
後面に接続したリモートマイクTM-C102A(別売品)からの音量を調節します。
- ⑤ファンタム電源表示灯[ファンタム電源 α1,α2,β1,β2]
各アンテナ入力ファンタム電源の状態を表示します。
緑 正常供給状態
赤 異常状態
必ず電源を切ってから、お買い上げの販売店にご連絡ください。
消灯 無接続状態
同軸ケーブルを接続していても、消灯している場合は、必ず電源を切ってから、お買い上げの販売店にご連絡ください。ただし、アンテナ混合器CSD-72Nを接続している場合の消灯は、異常ではありません。
(22ページ参照)
- ⑥アンテナ感度設定・出力表示部
保護パネルが装着されています。
- ⑦電源スイッチ[電源]
押すと電源が入ります。
- ⑧電源表示灯(緑)
電源スイッチ⑦を押すと点灯します。
- ⑨受信表示灯A(赤)
ワイヤレスマイクロホンWM-C802(別売品)のトークAの電波を受信すると点灯します。
- ⑩受信表示灯B(赤)
ワイヤレスマイクロホンWM-C802(別売品)のトークBの電波を受信すると点灯します。
- ⑪トークB音声出力モード設定スイッチ
[出力設定 1,2,3,4,ON]
後面のB1,B2,B3,B4 出力に対応して、音声出力先を設定します。「ON」にすると出力されます。
工場出荷時は、すべて「ON」に設定されています。(30ページ参照)
- ⑫チャンネル設定スイッチ
[CH 1/2/3/4/5/6]
受信チャンネルを設定します。
設定可能なチャンネルは「1」～「6」です。
その他のポジションは無効です。(24,25ページ参照)
- ⑬グループ設定スイッチ
[GROUP 1/2/3/4/5/6/8A/8B/9A/9B]
受信グループを設定します。(24,25ページ参照)
- ⑭受信音量調節つまみ[音量]
受信音量を調節します。
- ⑮フィールド選択スイッチ[標準 / 狭い]
アンテナの受信するフィールドの大きさ(感度)をリモートコントロールします。フィールドが狭い場合は、「狭い」に設定します。(23ページ参照)
- ⑯アンテナ感度設定スイッチ
[α1,α2,β1,β2, +6/0/-6]
各アンテナの感度を選択します。
使用する同軸ケーブルの種類や長さによって、アンテナの感度をリモートコントロール設定します。
工場出荷時は、「0」に設定されています。(23ページ参照)
- ⑰A音声／制御表示灯(赤) [音声表示 A]
A2音声出力時(制御送り時)に点灯します。
A1のみの音声出力時は点灯しません。
- ⑱B音声／制御表示灯(赤) [音声表示 B1,B2,B3,B4]
B音声出力時に点灯します。

各部の名前と説明

■後面



①電源コード [AC 100 V]

AC100 V 50/60 Hz

②B 出力レベル切換スイッチ [-60 dB/-20 dB]

B 出力ジャック②のレベルを設定します。

工場出荷時は、-20 dB に設定されています。

③B 出力ジャック[B出力 600 Ω 不平衡、1,2,3,4]

●チューナユニット1～6のトークB音声をミキシング出力します。

●トークB音声出力モード設定スイッチ①の1～4に対応して、B1～B4出力端子から音声を出力します。

●-20 dB/-60 dB 切換式 600 Ω 不平衡

-20 dB → 接続機器のライン入力端子へ

-60 dB → 接続機器のマイク入力端子へ

④B ファンタム電源スイッチ[ファンタム、ON/OFF]

7.5 V 65 mA

接続機器にファンタム電源供給が必要な場合は、「ON」にします。

工場出荷時は、「OFF」に設定されています。

(21 ページ参照)

⑤A2 出力レベル切換スイッチ [-60 dB/-20 dB]

A2 出力ジャック⑤のレベルを設定します。

工場出荷時は、-20 dB に設定されています。

⑥A2 出力ジャック[A出力2、600 Ω 不平衡]

●チューナユニット1～6のトークA音声をミキシング出力します。

A 出力設定スイッチ⑥によって、チューナユニット1～4までのトークA音声をミキシング出力できます。工場出荷時は、チューナユニット1～6のミキシング出力に設定されています。

●-20 dB/-60 dB 切換式 600 Ω 不平衡

-20 dB → 接続機器のライン入力端子へ

-60 dB → 接続機器のマイク入力端子へ

⑦A2 ファンタム電源スイッチ[ファンタム、ON/OFF]

7.5 V 65 mA

通常は「OFF」で使用します。

工場出荷時は、「OFF」に設定されています。

(21 ページ参照)

⑧A1 出力ジャック[A出力1、-20 dB 600 Ω 不平衡]

●チューナユニット1～6のトークA音声をミキシング出力します。

●A 出力設定スイッチ⑧によって、チューナユニット5,6のみのトークA音声をミキシング出力できます。工場出荷時は、チューナユニット1～6のミキシング出力に設定されています。

②7 アンテナ入力端子

[アンテナ入力 50-75 Ω $\alpha 1, \alpha 2, \beta 1, \beta 2$]

BNC コネクタ

専用ファンタム電源出力DC9V $\sim$ 12V 70 mA 最大
DC 出力電圧は、アンテナ感度設定スイッチ⑩により
変化します。

②8 A 出力設定スイッチ/ 予備出力モード設定スイッチ

[出力設定 A 出力 1, 2, 予備出力 A, B ON/OFF]
出荷時は、すべて「ON」に設定されています。

●A 出力1ジャック 1 $\sim$ 4

「ON」に設定すると、チューナユニット1 $\sim$ 6
のトークA 音声A1 から出力されます。

「OFF」に設定すると、チューナユニット5, 6
のみのトークA 音声A1 から出力されます。

●A 出力2ジャック 5, 6

「ON」に設定すると、チューナユニット1 $\sim$ 6
のトークA 音声A2 から出力されます。

「OFF」に設定すると、チューナユニット1 $\sim$ 4
までのトークA 音声A2 から出力されます。

●予備出力端子B B1 $\sim$ B4 ミキシング

●予備出力端子A A 音声

(30 ページ参照)

②9 B 出力優先設定スイッチ

[出力設定 B 外部優先1, 2, 3, 4, ON/OFF]

●「ON」に設定

端子台No.25 制御が「L」(※1) の場合のみ、他の
音声(※2) を減衰し、端子台No.23, 24 のB 優先外
部入力音声を優先して出力します。

端子台No.27 検出と端子台No.25 制御がショートさ
れている場合は、端子台No.23, 24 の音声信号によ
り優先動作します。

(※1) L : 制御端子HとCをショート

(※2) 他の音声 : 優先入力以外のすべての音声

●「OFF」に設定

チューナユニット1 $\sim$ 6 の音声と他の音声をミキ
シング出力します。

出荷時は、すべて「OFF」に設定されています。

(31 ページ参照)

③0 外部入力制御端子台

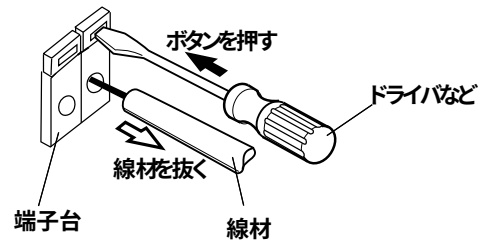
●B 外部入力端子[B 外部入力] (31 ページ参照)

●予備出力端子[予備出力] (30 ページ参照)

●リモートマイク1入力端子[リモートマイク1] (26 ページ参照)

●リモートマイク2入力端子[リモートマイク2] (26 ページ参照)

端子台のボタンを押しながら、線材を抜き差しします。



③1 B 外部入力設定スイッチ

[出力先設定 B 外部入力、ON/OFF、1, 2, 3, 4]

端子台No.23, 24 のB 外部入力音声のミキシング出力
先を設定します。

端子台No.25 制御が「L」(※3) の場合のみ出力し
ます。(31 ページ参照)

端子台No.27 検出と端子台No.25 制御がショートさ
れている場合は、端子台No.23, 24 の音声信号により出
力します。

③2 B 増設入力設定スイッチ

[出力先設定 B 増設入力、ON/OFF、1, 2, 3, 4]

B 増設入力ジャック③5の入力音声のミキシング先を設
定します。

入力ジャックのリングが「L」(※3) の場合のみ出力
します。(20, 21 ページ参照)

③3 B 外部検出レベル設定ボリューム

[B 外部入力 検出レベル、小/大]

端子台No.23, 24 のB 外部検出レベルを設定します。

③4 B 外部音声レベル設定ボリューム

[B 外部入力 音声レベル、小/大]

端子台No.23, 24 のB 外部音声レベルを設定します。

③5 B 増設入力ジャック

[増設入力、B -20 dB 600 Ω 不平衡]

●入力された音声をB1 $\sim$ B4 出力からミキシング出力
します。

●B 増設入力設定スイッチ③2により、B1 $\sim$ B4 まで出
力先が設定可能です。

●入力ジャックのリングが「L」(※3) の場合のみ出
力されます。

③6 A 増設入力ジャック

[増設入力、A -20 dB 600 Ω 不平衡]

●入力された音声をA 出力からミキシング出力します。

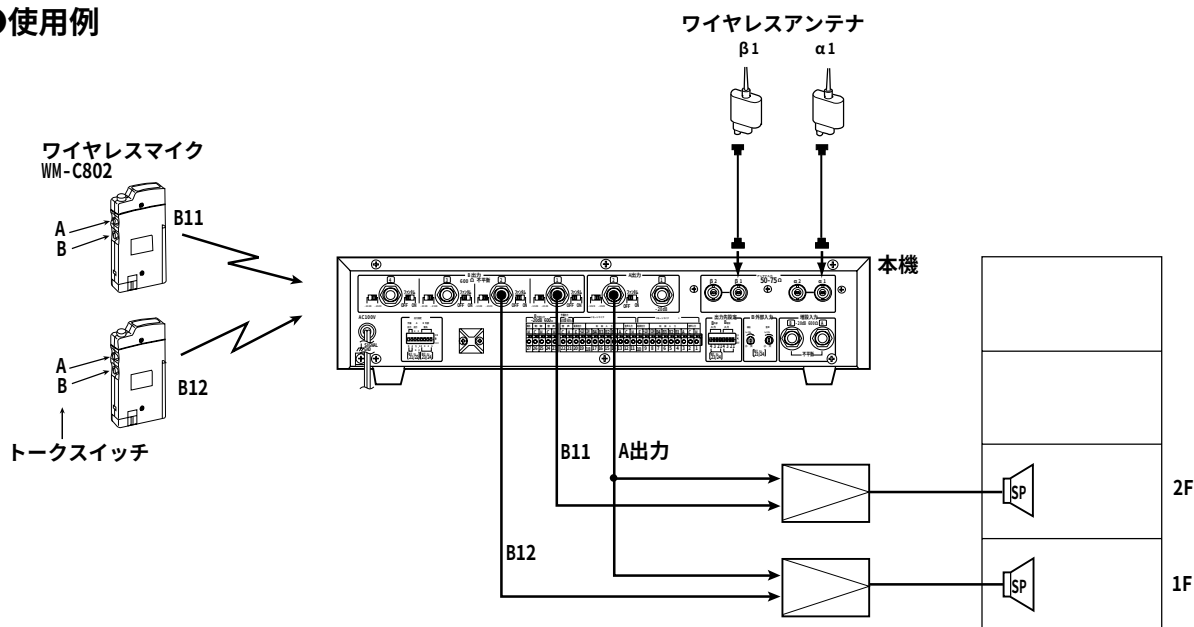
●入力ジャックのリングが「L」(※3) の場合のみ出
力されます。

(※3) L : ジャックのリングとスリーブをショート

トークA,B 出力の使いかた

ワイヤレスマイク WM-C802 （別売品）のトークスイッチA、B 2系統の音声を出力することができます。

●使用例



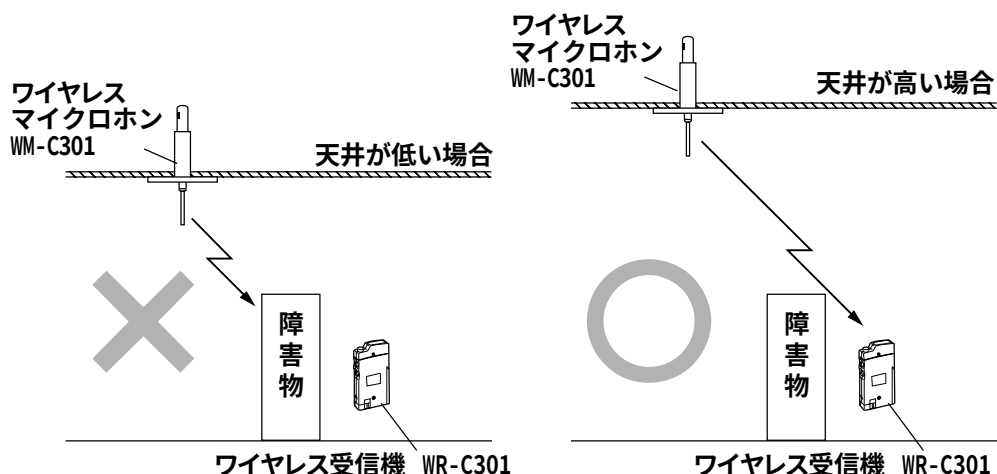
トークスイッチAを押すと、 1 F + 2 F に音声出力されます。
トークスイッチB (B11) を押すと、 2 F のみに音声出力されます。
トークスイッチB (B12) を押すと、 1 F のみに音声出力されます。

お願い

トークA2、トークB 1～B 4 出力には、天井取付アダプタ AX-C151 （別売品）を使用して、ワイヤレスマイクロホン WM-C301 （別売品）を接続することができます。

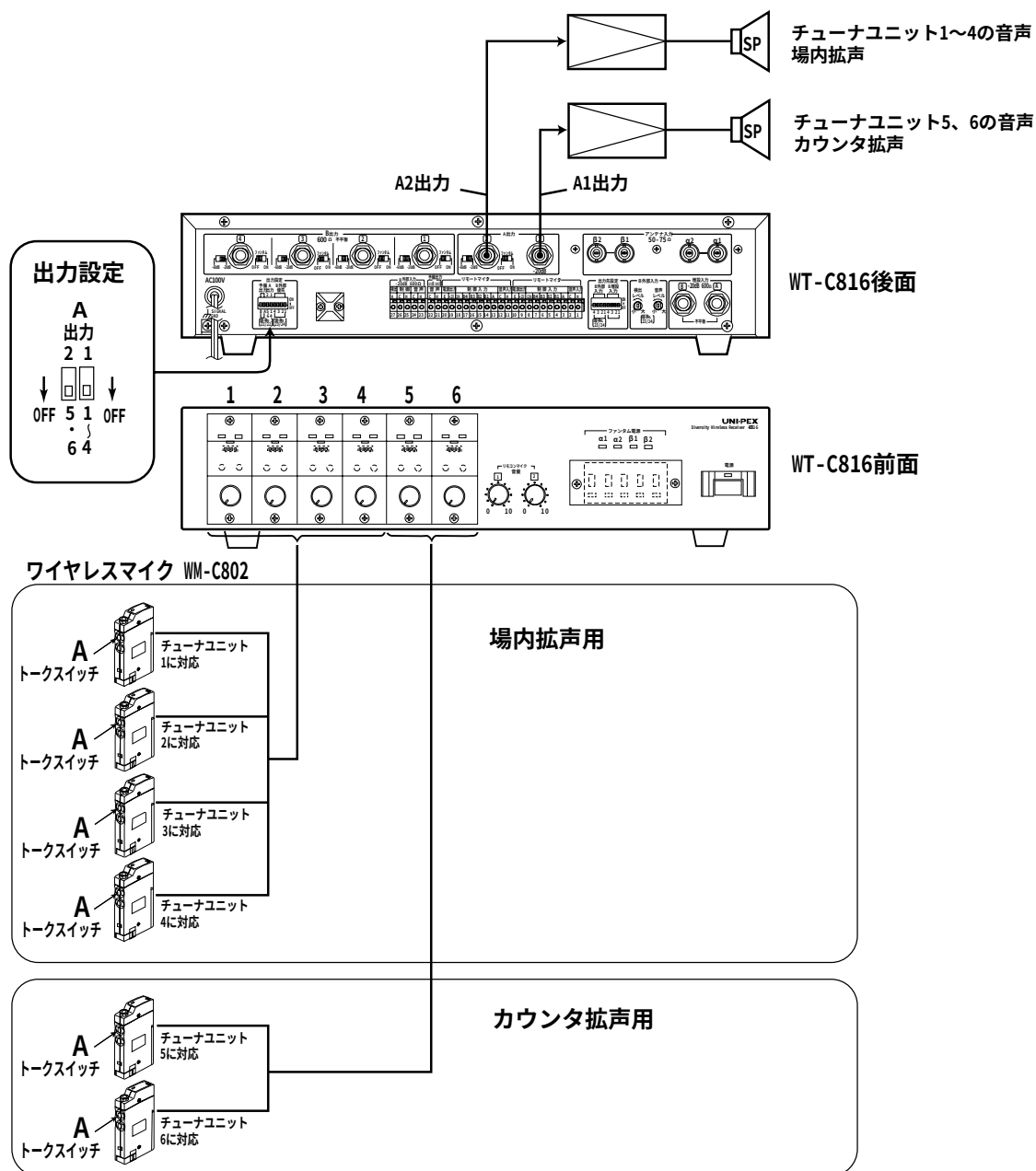
- トークA 1 出力は、ファンタム電源出力機能がありませんので、ワイヤレスマイクロホンは接続できません。
- ワイヤレスマイクロホンはできるだけ、天井の高い位置（3 m 以上）に設置してください。
天井が低い場合は、障害物により、使用エリアが狭くなります。

- 詳しくは、天井取付アダプタ AX-C151、ワイヤレスマイクロホン WM-C301、ワイヤレス受信機 WR-C301 の取扱説明書をお読みください。

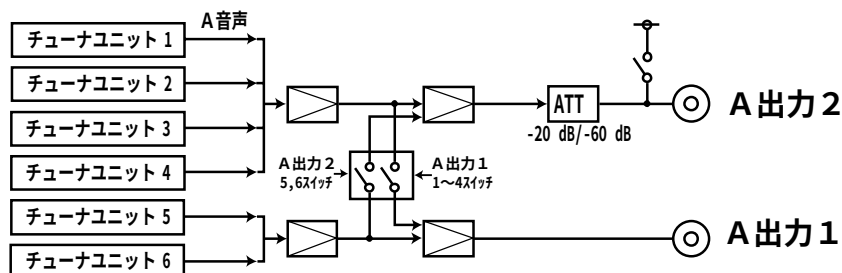


トークA 出力の使いかた

チューナユニットの装着場所により、A1,A2 の2系統のトークA 音声を出力することができます。
A 出力設定スイッチ⑳により選択します。

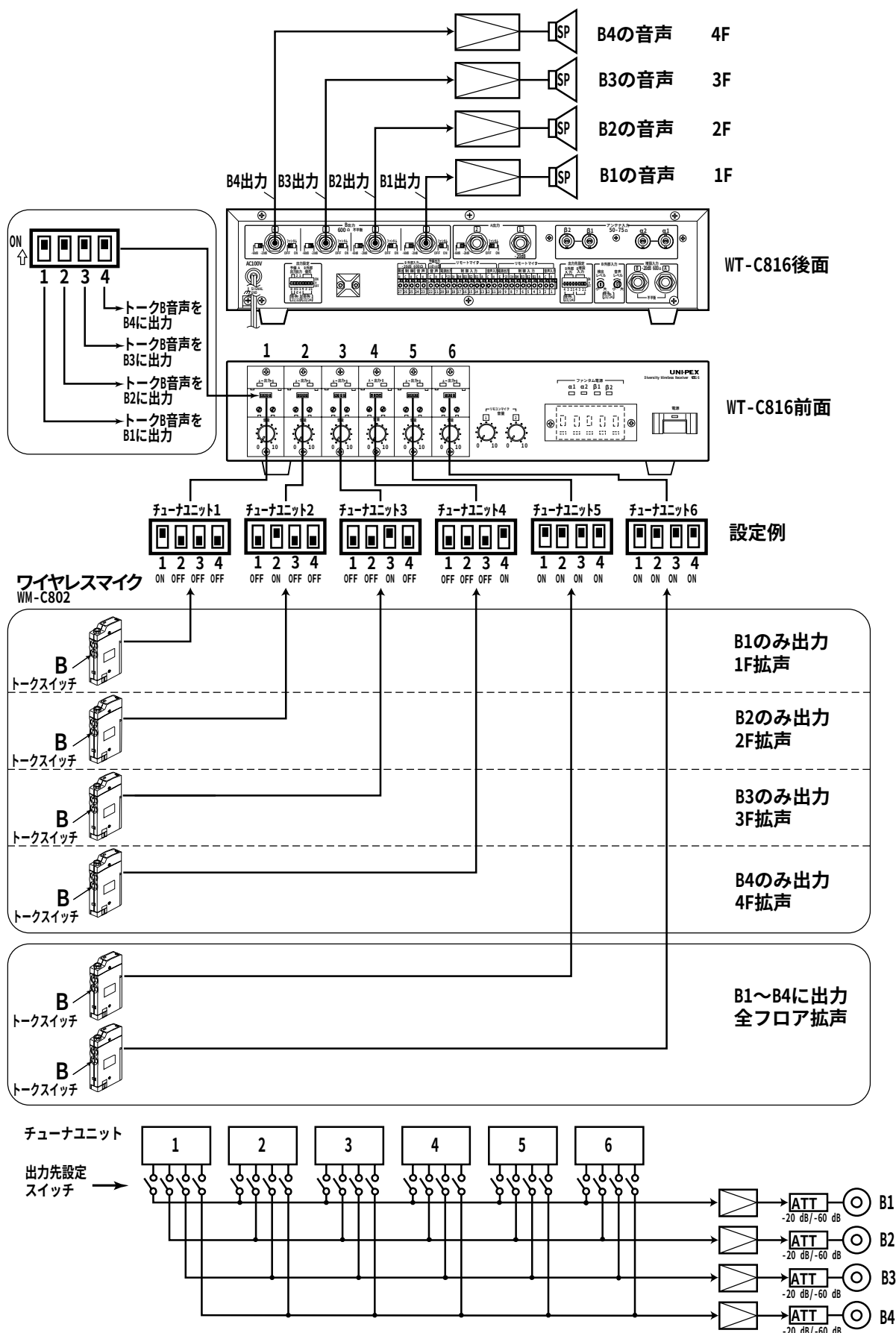


出力設定A 出力1,2を「ON」にすることにより、チューナユニット1~6をA 出力1,2から出力することもできます。(19ページ参照)

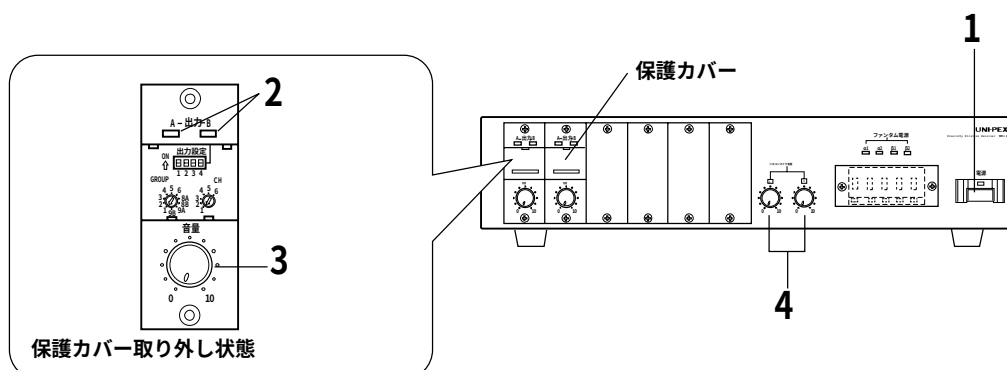


トークB 出力の使いかた

チューナユニットの出力設定スイッチにより、後面のB1,B2,B3,B4 を選択出力できます。



操作のしかた



- 1 電源スイッチ⑦を押します。
電源表示灯⑧が点灯します。

- 2 ワイヤレスマイク WM-C802(別売品)のトークA、B
スイッチを押し、受信表示灯⑨⑩が点灯することを
確認します。
●ワイヤレスマイクのグループ・チャンネル設定につい
ては、ワイヤレスマイクの説明書をご参照ください。

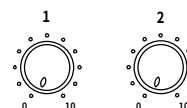
A — 出力 — B

□ □

- 3 トークA、B を受信音量調節つまみ⑭でお好みの音量
に調節します。



- 4 リモートマイク TM-C102A(別売品)を接続している
場合は、リモートマイク音量調節つまみ④でお好み
の音量に調節します。



接続のしかた

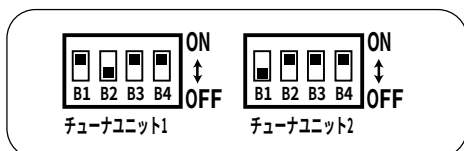
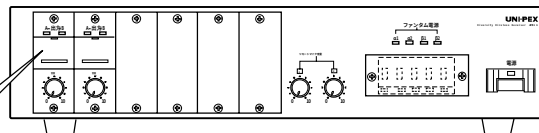
■2チャンネルダイバシティ受信方式の場合

※WT-C816 を1台使用した例

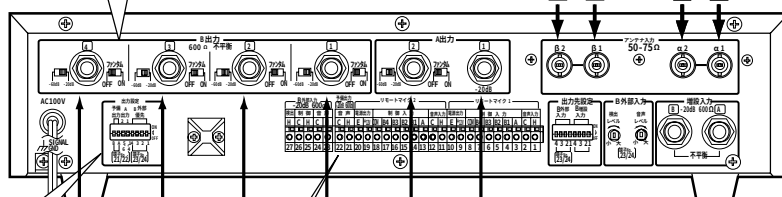
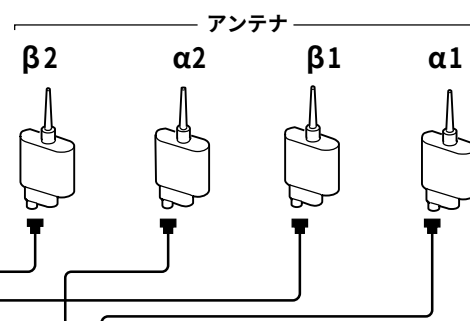
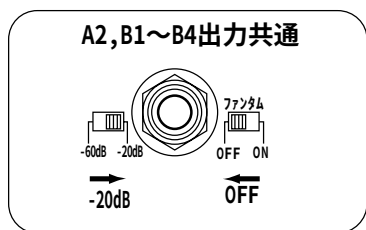
トークA 出力

トークB 2チャンネルミキシング1出力 B1～B4

1～6グループを使用して2波同時運用できます。



チューナユニット	1	2
B音声出力先	B1、B3、B4	B2、B3、B4



後面

.....複式プラグ
.....BNCコネクタ

出力設定

予備 A
出力 出力
2 1 ON
BA 5 1 OFF
6 4

予備出力端子

予備出力
f-20dB600Ω
音声入力
C H
22 21

(トークA)接続機器のライン入力端子へ
チューナユニット1,チューナユニット2のトークA
ミキシング音声を出力します。

(トークA)接続機器のライン入力端子へ
チューナユニット1,チューナユニット2のトークA
ミキシング音声を出力します。

(トークB)接続機器のライン入力端子へ
チューナユニット1の出力が出ます。

(トークB)接続機器のライン入力端子へ
チューナユニット2の出力が出ます。

(トークB)接続機器のライン入力端子へ
チューナユニット1,チューナユニット
2のトークBミキシング音声を出力します。

チューナユニッ
トのトークB
音声出力設定に
よりミキシング
出力可能

(トークA+トークB)接続機器のライン入力端子へ
チューナユニット1,チューナユニット2のトークAと
トークBミキシング音声を出力します。

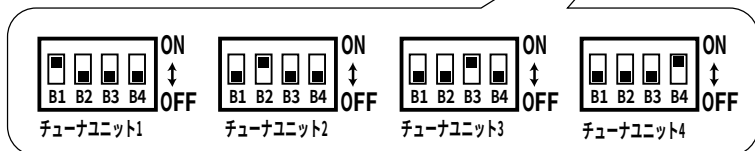
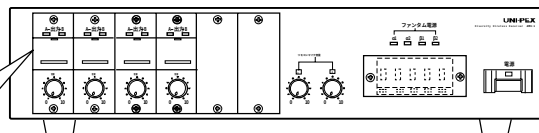
■4チャンネルダイバシティ受信方式の場合

※WT-C816 を1台使用、DU-C800 を2台増設した例

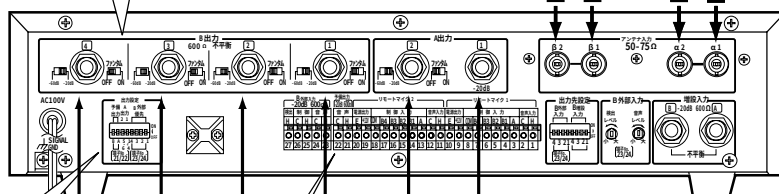
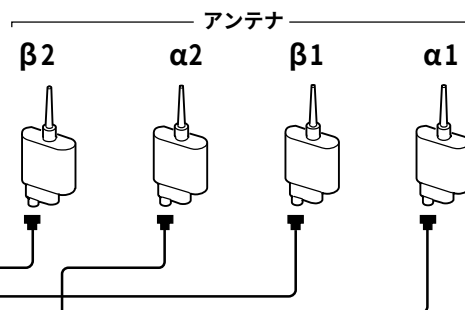
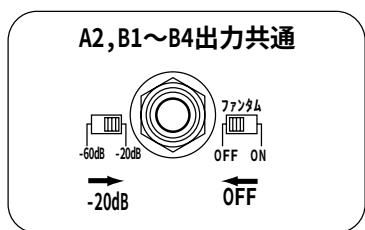
トークA 出力

トークB 2チャンネル出力+ミキシング1出力

1~6 グループを使用して 4波同時運用できます。

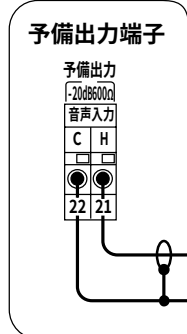
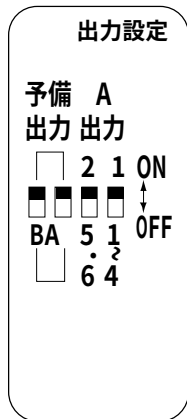


チューナユニット	1	2	3	4
B 音声出力先	B1	B2	B3	B4



後面

.....複式プラグ
.....BNCコネクタ



接続機器のライン入力端子へ チューナユニット1~4のトークA音声 のみミキシング出力します。	チューナユニット のトークB 音声出力設定に よりミキシング 出力可能
接続機器のライン入力端子へ チューナユニット1~4のトークA音声 のみミキシング出力します。	
接続機器のライン入力端子へ チューナユニット1のトークB音声の み出力します。	
接続機器のライン入力端子へ チューナユニット2のトークB音声の み出力します。	
接続機器のライン入力端子へ チューナユニット3のトークB音声の み出力します。	出力モード設定 スイッチにより トークAのみ、 トークBのみの 設定可能
接続機器のライン入力端子へ チューナユニット4のトークB音声の み出力します。	
接続機器のライン入力端子へ チューナユニット1~4のトークA音声 とトークB音声をミキシング出力します。 ※B1,B2,B3,B4,はA出力に対し出力レ ベルが6 dB低下します。	

接続のしかた

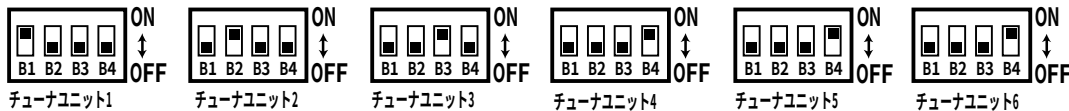
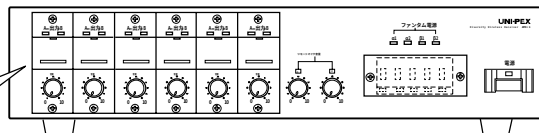
■6チャンネルダイバシティ受信方式の場合

※WT-C816 を1台使用、DU-C800 を4台増設した例

トークA 出力

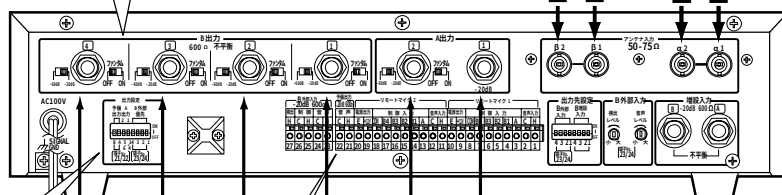
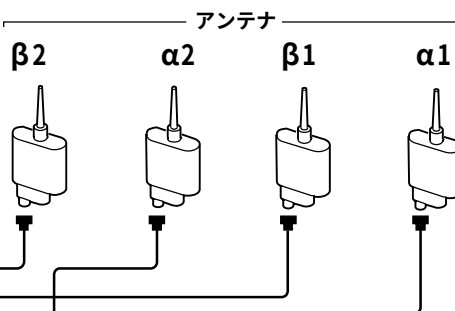
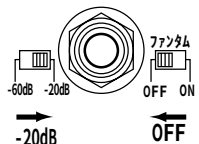
トークB 4チャンネル出力+ミキシング1出力

1~6 グループを使用して6波同時運用できます。



チューナユニット	1	2	3	4	5	6
B音声出力先	B1	B2	B3	B4		

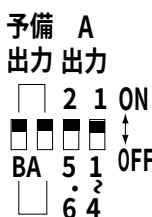
A2, B1~B4出力共通



後面

.....複式プラグ
.....BNCコネクタ

予備出力



予備出力端子



接続機器のライン入力端子へ チューナユニット1~6のトークA音声 のみミキシング出力します。	出力設定A出力1を OFFに設定すると チューナユニット 5,6のA音声のみ 出力可能
接続機器のライン入力端子へ チューナユニット1~6のトークA音声 のみミキシング出力します。	出力設定A出力2を OFFに設定すると チューナユニット 1~4のA音声 のみ出力可能
接続機器のライン入力端子へ チューナユニット1のトークB音声の み出力します。	チューナユニット のトークB 音声出力設定に よりミキシング 出力可能
接続機器のライン入力端子へ チューナユニット2のトークB音声の み出力します。	
接続機器のライン入力端子へ チューナユニット3のトークB音声の み出力します。	
接続機器のライン入力端子へ チューナユニット4、5、6のトークB 音声のみ出力します。	出力モード設定 スイッチにより トークAのみトー クBのみの設定可 能
接続機器のライン入力端子へ チューナユニット1~6のトークA音声 とトークB音声をミキシング出力します。 ※B1, B2, B3, B4, はA出力に対し出力レ ベルが6 dB低下します。	

■12チャンネルダイバシティ受信方式の場合

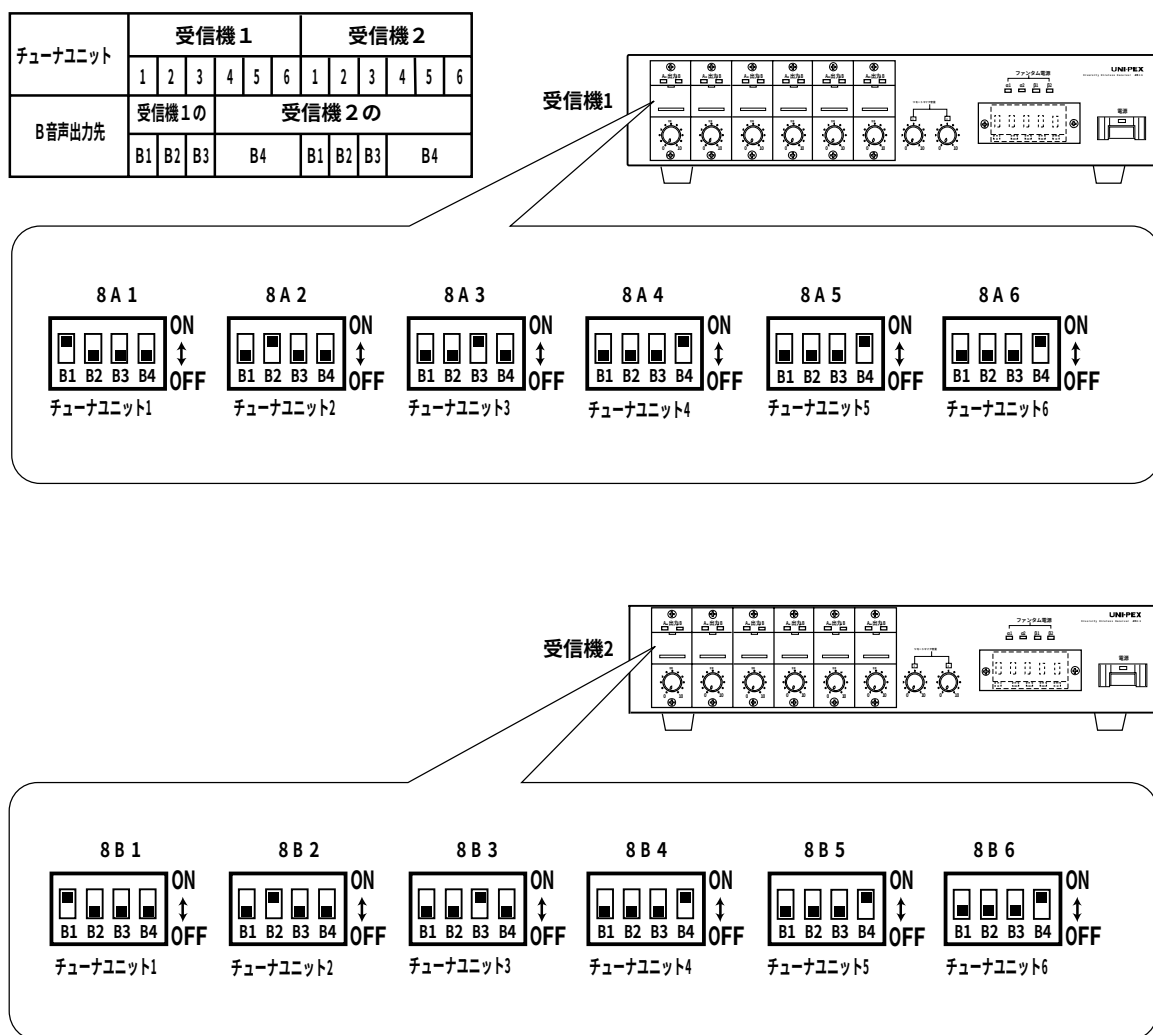
※WT-C816 を2台使用、DU-C800 を8台増設した例

トークA 出力

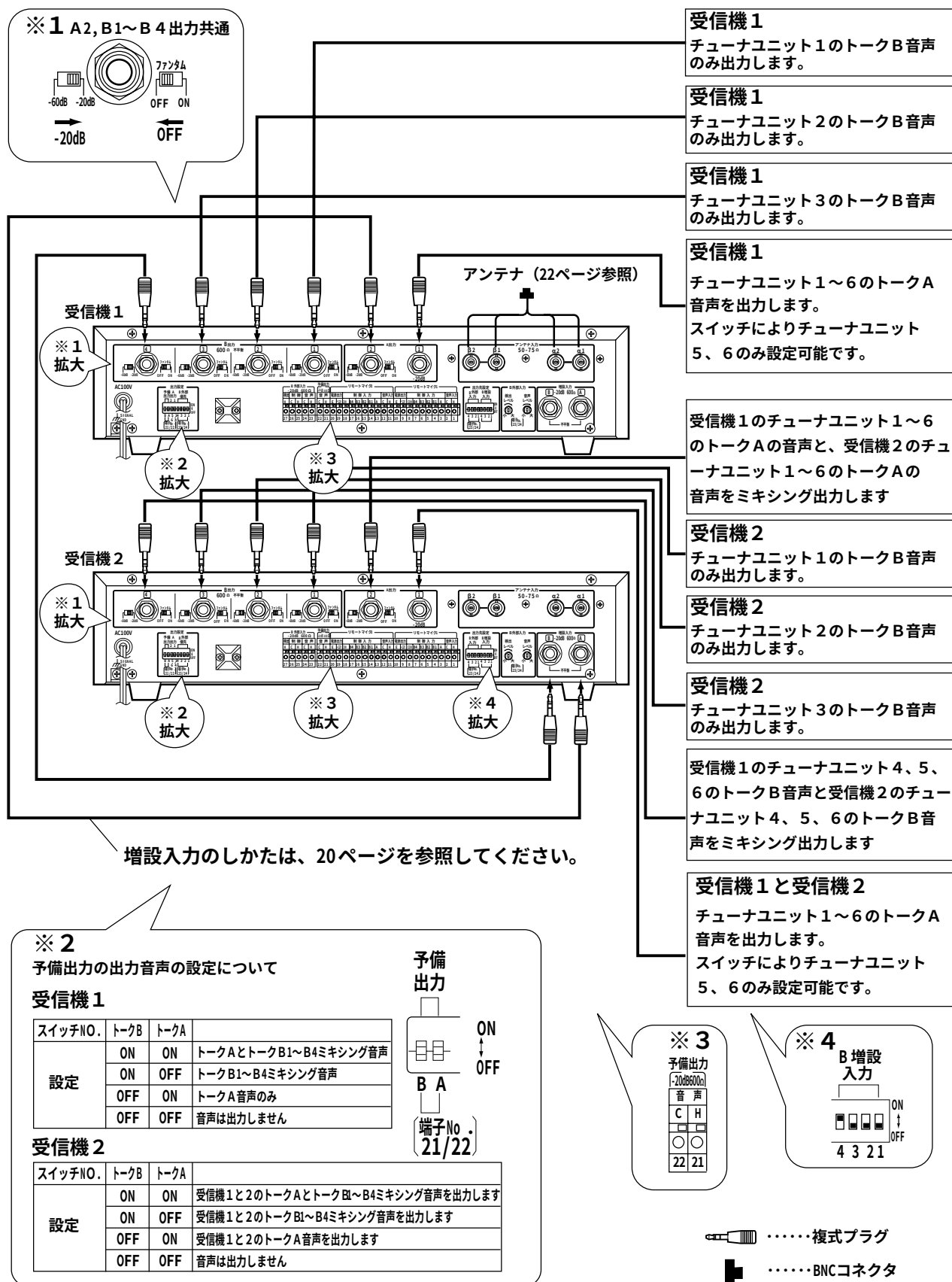
トークB B1～B4 6チャンネル出力+ミキシング1出力

(8A,8B) , (9A,9B) グループで、12 波同時運用できます。

- アンテナの接続方法は、‘ アンテナについて ’ (22 ページ) を参照してください。
- 受信機を2台使用する場合、2台とも電源スイッチを入れてください。
どれか1台の電源スイッチを切ると、音声は出力されません。
- 7～12 チャンネル運用は、他ワイヤレスシステムの1～7 グループ、本システムの1～6 グループと同一空間では使用できません。
- グループ8A、8B、9A、9 B運用では、受信機内部で自動的に狭いエリアモードで動作しますので、ワイヤレスマイクとワイヤレスアンテナの距離は、使用範囲最大距離の1/2以下で使用してください。
- 8 Aグループと8 Bグループは同一空間で使用できます。
- 9 Aグループと9 Bグループは同一空間で使用できます。
- 8 Aと9 A、8 Aと9 B等は同一空間で使用できません。



接続のしかた



●A 出力1,2の設定について

出力設定A 出力1,2の設定により、各受信機のA1,A2 音声出力を設定できます。

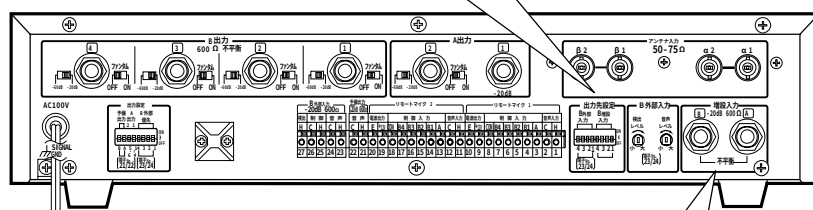
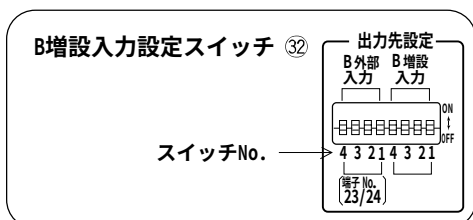
スイッチ設定	受信機	出力モード	
受信機 1 A 出力 2 1 ON ↑  ON ↑	受信機 1	出力A 1	受信機 1 のチューナユニット 1 ～ 6 のA 音声（チャンネル 8 A 1 ～ 8 A 6）を出力します。
	受信機 2	出力A 1 出力A 2	受信機 1 と受信機 2 のチューナユニット 1 ～ 6 のA 音声（チャンネル 8 A 1 ～ 8 A 6 + 8 B 1 ～ 8 B 6）を出力します。
受信機 1 A 出力 2 1 OFF ↓  OFF ↓	受信機 1	出力A 1	受信機 1 のチューナユニット 5, 6 のA 音声（チャンネル 8 A 5, 8 A 6）を出力します。
	受信機 2	出力A 1	受信機 2 のチューナユニット 5, 6 のA 音声（チャンネル 8 B 5、8 B 6）を出力します。
受信機 2 A 出力 2 1 OFF ↓  OFF ↓		出力A 2	受信機 1 のチューナユニット 1 ～ 4 のA 音声と受信機 2 のチューナユニット 1 ～ 4 のA 音声を出力します。

増設入力について

本機を2台使用して、7波～12波運用する場合に使用します。

- A 増設入力は、ミキシング出力します。
- B 増設入力のみ、B 増設入力設定スイッチ③②により、出力先を設定できます。

機能	B4	B3	B2	B1	B 外部入力音声の出力先
設定	ON	ON	ON	ON	B1～B4 すべて出力
	ON	OFF	OFF	OFF	B4 のみに出力
	OFF	ON	OFF	OFF	B3 のみに出力
	OFF	OFF	ON	OFF	B2 のみに出力
	OFF	OFF	OFF	ON	B1 のみに出力



- 増設入力ジャック③⑤③⑥
-20 dB 600 Ω 不平衡
大形複式、リング部は制御として使用
- 増設入力接続時は、リング部を制御端子として使用するため複式プラグで接続します。
- 接続先のA出力、B出力の設定は18 ページを参照してください。



●具体的な使用例

- ワイヤレスマイク12 チャンネル音声を4グループの音声出力に分割する場合
- A 出力はミキシング出力します。

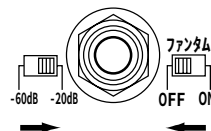
チャンネル	8A1	8A2	8A3	8A4	8A5	8A6	8B1	8B2	8B3	8B4	8B5	8B6
受信機	1						2					
音声出力	B1			B2			B3			B4		
トーク B 音声 出力モード 設定スイッチ①	B1 B2 B3 B4 ON ↓ OFF			B1 B2 B3 B4 ON ↓ OFF			B1 B2 B3 B4 ON ↓ OFF			B1 B2 B3 B4 ON ↓ OFF		
	チューナユニット1～3			チューナユニット4～6			チューナユニット1～3			チューナユニット4～6		
出力端子	B1 B1 音声出力機器へ接続 B2 B2 音声出力機器へ接続 B3 受信機2B 増設入力へ接続 B4 接続しません						接続しません 接続しません B3 音声出力機器へ接続 B4 音声出力機器へ接続					
設定							B 増設入力設定 スイッチ③②					
							4 3 2 1 ON ↓ OFF					

●接続のしかた

ファンタム電源について

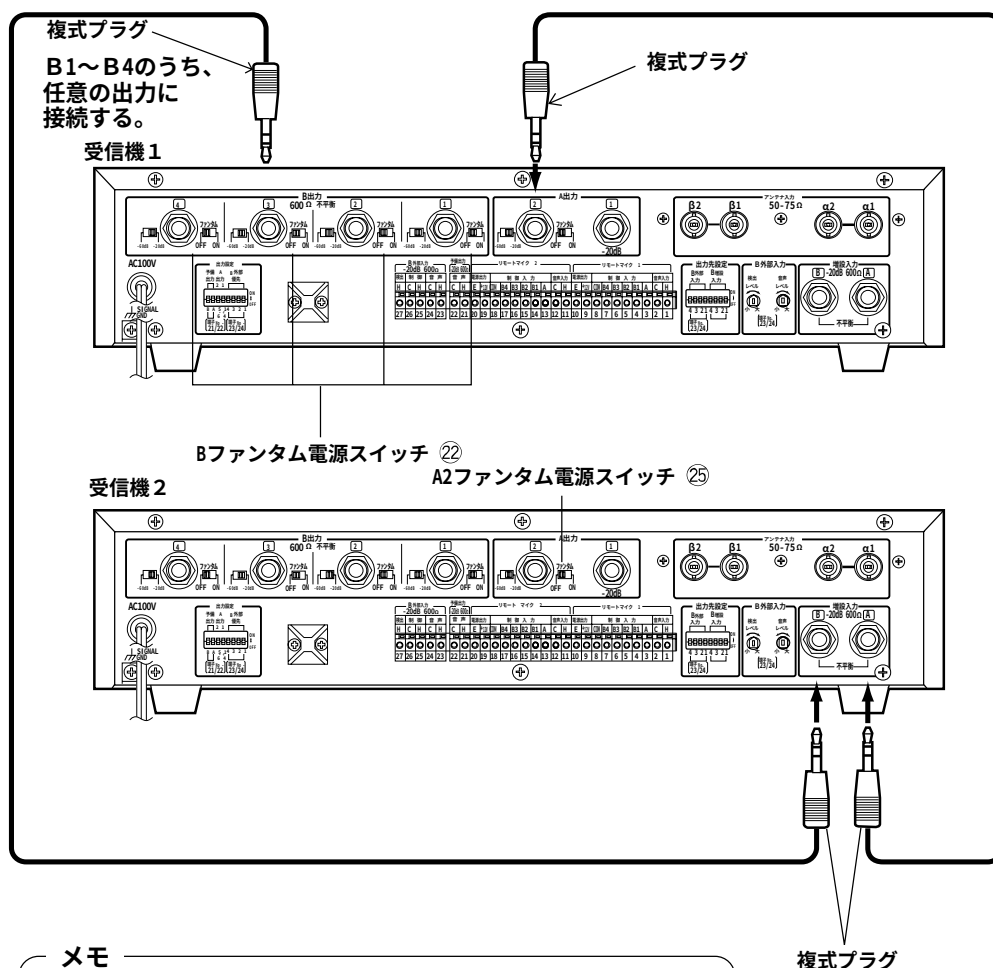
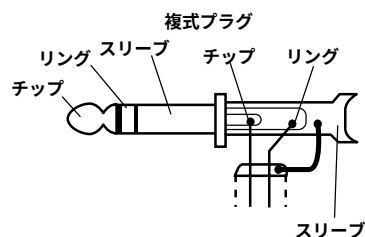
- ファンタム電源スイッチ②⑤は、「OFF」設定
でご使用ください。

ファンタム：OFF
レベ ル：-20 dB



- ファンタム電源スイッチ②⑤の動作

ファンタム電源スイッチ	ON	OFF
チップ	音声 H	
リング	ファンタム電源供給 7.5V 65mA	B1～B4 制御送り
スリーブ	音声 C	

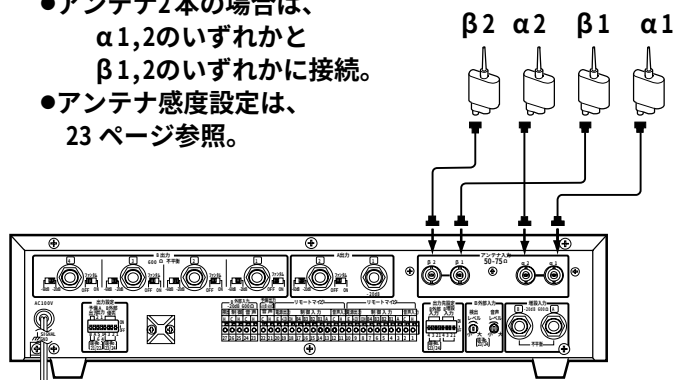


アンテナについて

本機には、専用アンテナ AA-C801、AA-C802(別売品)を使用します。最大8台まで接続できます。その他のアンテナでは、正常に動作しません。

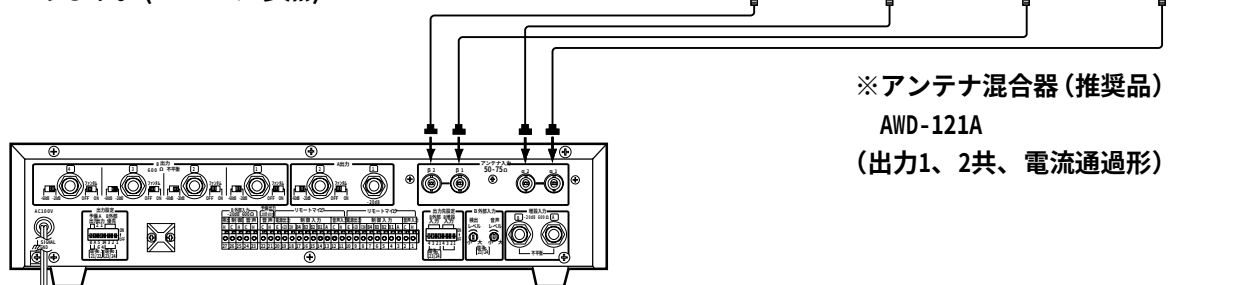
●本機 1台、アンテナ 2～4台 使用の場合

- アンテナ2本の場合は、 $\alpha 1, 2$ のいずれかと $\beta 1, 2$ のいずれかに接続。
- アンテナ感度設定は、23 ページ参照。



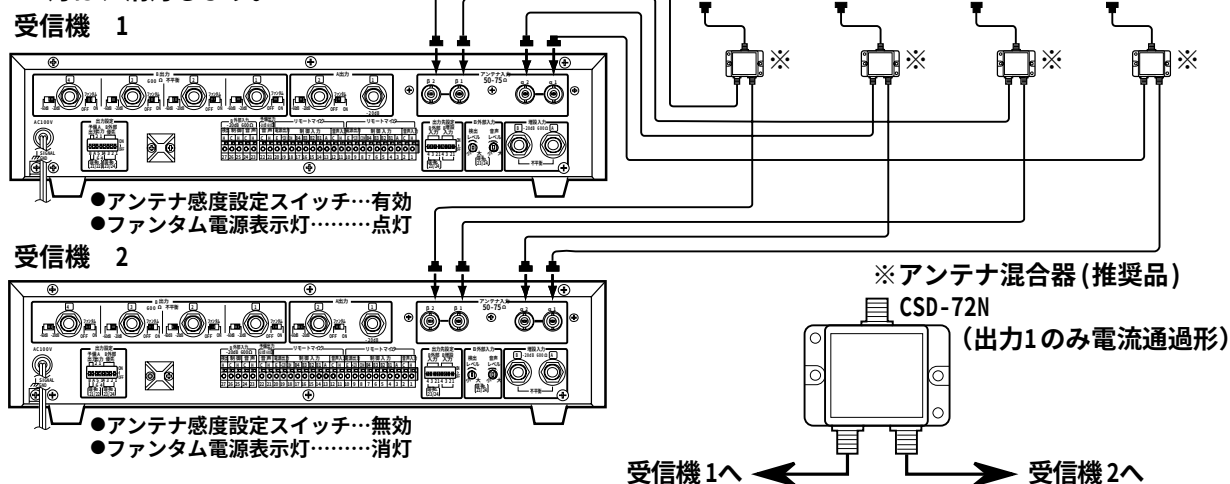
●本機 1台、アンテナ 5～8台 使用の場合

- アンテナ混合器 AWD-121A を使用します。
- アンテナ感度設定は、23 ページ参照。 $\alpha 1-1$ と $\alpha 1-2, \alpha 2-1$ と $\alpha 2-2, \beta 1-1$ と $\beta 1-2, \beta 2-1$ と $\beta 2-2$ は同一のアンテナ感度設定になります。
- 使用する同軸ケーブルは混合器の接続により短くなります。(23ページ参照)



●本機 2台、アンテナ 2～4台 使用の場合

- アンテナ混合器 CSD-72N を使用します。
- アンテナ感度設定は、23 ページ参照。
混合器のOUT1 に接続した受信機からのみ可能。
混合器のOUT2 に接続した受信機のアンテナ表示灯は、消灯します。

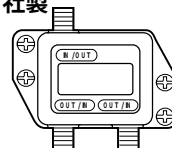


※アンテナ混合器(推奨品)

品番は 2000年8月現在のものです。

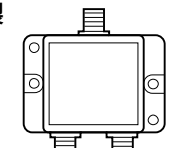
東芝ライテック(株)社製

- AWD-121A
(出力1、2共
電流通過形)

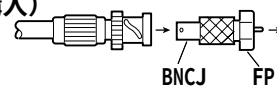


DXアンテナ(株)社製

- CSD-72N
(出力1のみ
電流通過形)



- 50Ω系同軸ケーブル使用の場合は、FP-BNCJアダプタをご使用ください。(別途購入)



※アンテナ混合器(推奨品)

AWD-121A

(出力1、2共、電流通過形)

※アンテナ混合器(推奨品)

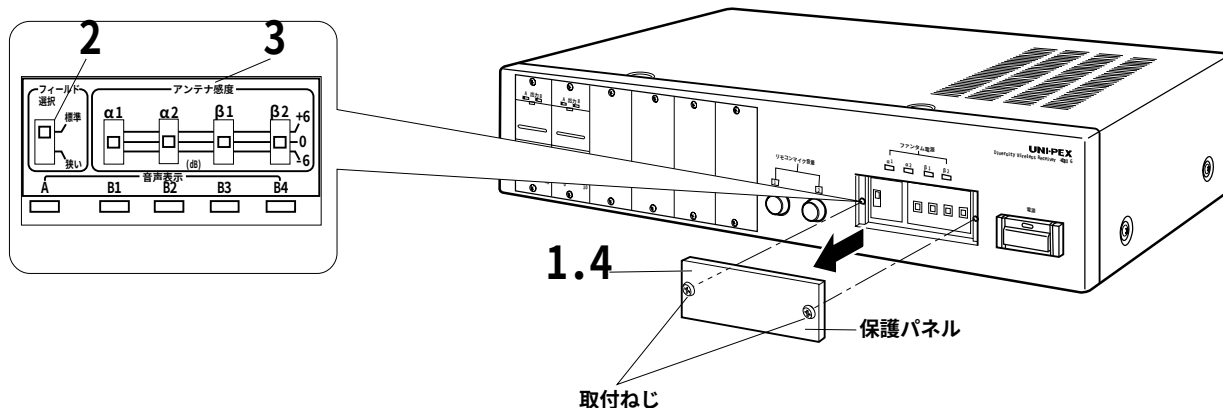
CSD-72N

(出力1のみ電流通過形)

フィールド・アンテナ感度の設定

アンテナの受信するフィールドの大きさと、各アンテナの感度を設定します。

アンテナ感度は、各アンテナを直接接続した受信機のアンテナ感度設定スイッチ⑬で設定します。



1 取付ねじ(2本)をゆるめて、保護パネルをはずします。

2 フィールド選択スイッチ⑮で、フィールドを設定します。
各アンテナすべての受信感度を、使用するフィールドに合わせて個別に設定します。

使用場所 (参考例)	パチンコ店	小会議室	宴会場
使用範囲 アンテナからマイクまでの距離			
最大	15m	8m	20m
最小	2m	1m	2m
フィールド選択スイッチ			
標準	●		●
狭い		●	

3 アンテナ感度設定スイッチ⑬で、アンテナ感度を設定します。

●各アンテナの同軸ケーブルに合わせて、個別に設定します。

●50 Ω系の同軸ケーブルも同様に使用できます。

5C-2V= 5D-2V

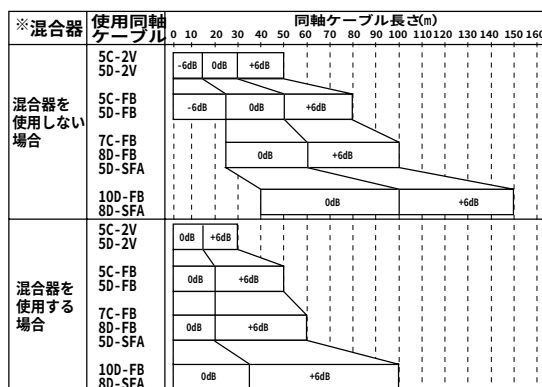
5C-FB= 5D-FB

7C-FB= 8D-FB=5D-SFA

10D-FB=8D-SFA

●5C-FB 以上の同軸ケーブルを使用する場合は、専用コネクタを使用し、BNC 変換ケーブルで本機に接続してください。

●50 Ω系ケーブルを使用する場合は、変換ケーブルも50 Ω系を使用してください。



数字は感度設定位置を示します。
※アンテナ混合器(推奨品)
AWD-121A/CSD-72N

4 1 ではなくした保護パネルを元通りに取り付けます。

お願い

実動作試験により音切れが多く発生する場合は、アンテナ感度設定スイッチ⑬を1ポジション上げてください。[例] -6 dB→0 dB

受信するグループ・チャンネルについて

チューナユニット1,2のグループ・チャンネルを設定します。

チューナユニット DU-C800(別売品)を増設した場合は、チューナユニット1,2のグループ・チャンネルと同様にグループ・チャンネルを設定します。

お願い

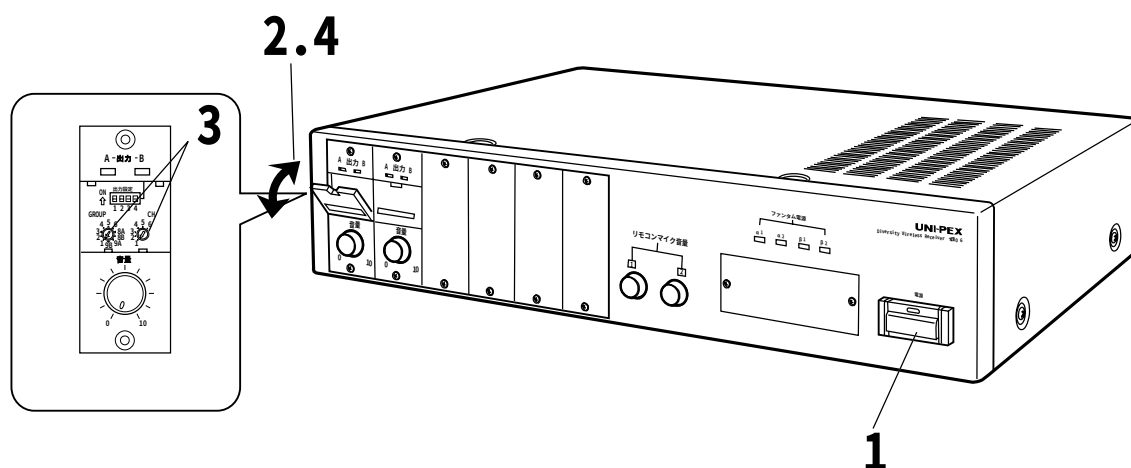
- チューナユニット1～6は、同一グループ・異チャンネルで使用してください。同じにすると、混信・ビートの原因になります。
- ユニパックス拡声ワイヤレスシステム (WTD-8000 シリーズ)と同一空間で使用する場合は本受信システムとWTD-8000シリーズを、1つのグループに統一します。
- たとえばグループ1を使用する場合、チャンネル1～3をWTD-8000シリーズに、チャンネル4～6を本受信システムに設定します。
- WTD-8000 シリーズをグループ1に設定し、本受信システムをグループ2に設定して使用することはできません。また、WTD-8000 シリーズは、周波数が異なるため、ワイヤレス受信機WT-C816 を共用することはできません。
- グループ8A, 8B, 9A, 9Bを使用する場合はワイヤレス受信機WT-C816 を2台使用して7～12波を使用する場合は、グループ8A, 8B, 9A, 9Bを使用します。この場合、次の点にご注意ください。
- ユニパックス拡声ワイヤレスシステム (WTD-8000 シリーズ)と同一空間では使用できません。
- 8Aと8B、9Aと9Bを組み合わせて使用します。8Aと9B、8Bと9B等の組み合わせでは使用できません。
- 7～12波の運用では、受信機内部のせまいエリアモードで動作しますので、本機とアンテナの距離を、使用範囲最大距離の1/2以下でご使用ください。

●受信周波数表

周波数 (MHz)	グループ									
	1	2	3	4	5	6	8		9	
							A	B	A	B
806.125	B11						B8A1			
806.250		B21							B9A1	
806.375	B12									
806.500		B22					B8A2			
806.625			B31						B9A2	
806.750				B41			B8A3			
806.875			B32						B9A3	
807.000		B23								
807.125	B13						B8A4			
807.250						B61			B9A4	
807.375			B33				B8A5			
807.500				B42					B9A5	
807.625					B51					
807.750	B14						B8A6			
807.875		B24							B9A6	
808.000				B43				B8B1		
808.125					B52					B9B1
808.250			B34							
808.375					B53			B8B2		
808.500		B25								B9B2
808.625			B35					B8B3		
808.750					B54					B9B3
808.875		B26								
809.000	B15							B8B4		
809.125				B44						B9B4
809.250			B36					B8B5		
809.375				B45						B9B5
809.500	B16									
809.625					B55			B8B6		
809.750				B46						B9B6
運用チャンネル	6波運用						7～12波運用			

●設定のしかた

下記の手順で、チューナユニット1,2の設定をします。
チューナユニットを増設した場合も、同様に設定します。



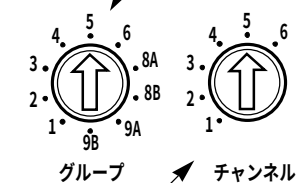
1 電源スイッチを「切」にします。

2 小形ドライバ(付属)を使って、保護カバーをはずします。

3 小形ドライバ(付属)を使って、グループ設定スイッチ⑬、チャンネル設定スイッチ⑫の「↑」を、ワイヤレスマイクのグループ、チャンネルと同じ数字に合わせます。

チャンネルについて
1～6のポジションに合わせてください。その他のポジションに合わせると受信表示灯⑨⑩が点滅し、正常に設定できません。

グループ設定スイッチ ⑬



チャンネル設定スイッチ ⑫

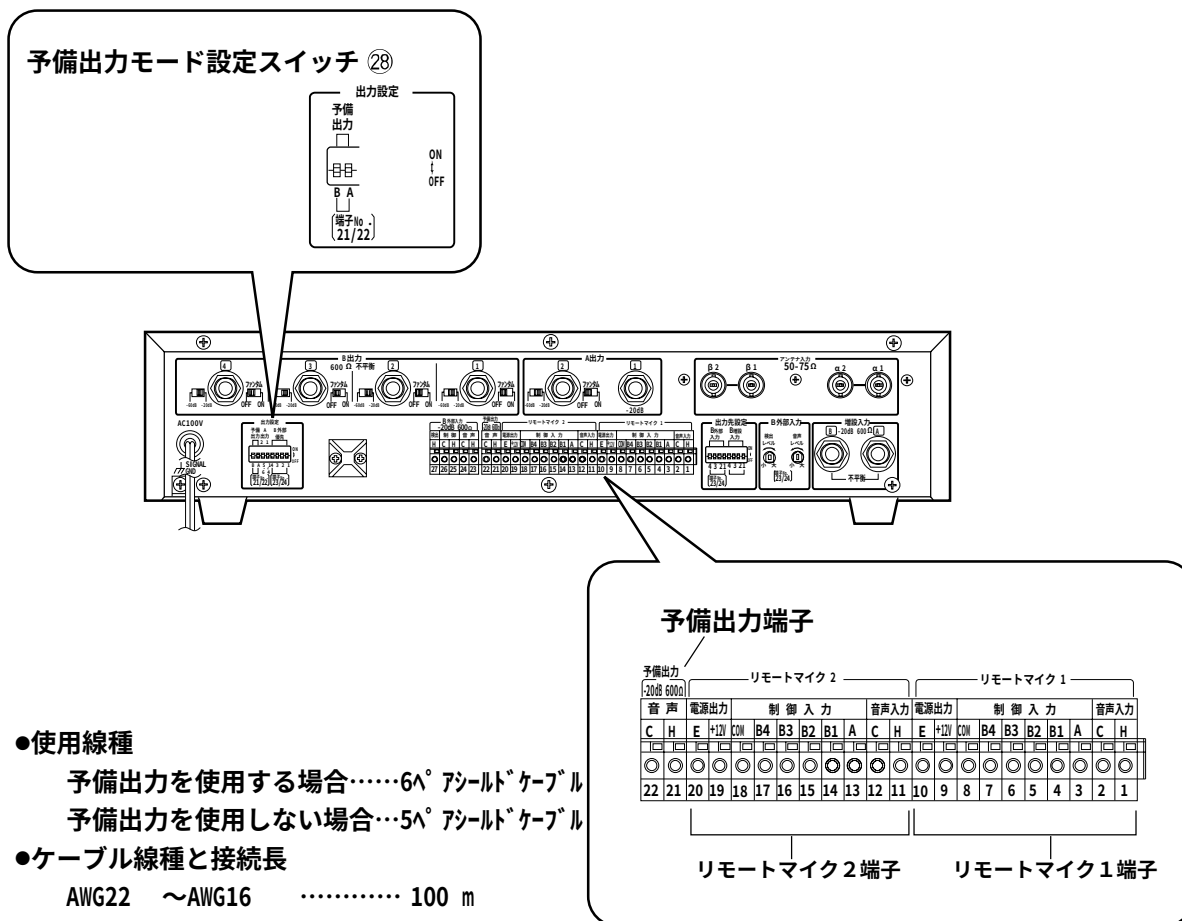
4 2 ではずした保護カバーを元通りに取り付けます。

リモートマイクについて

リモートマイク TM-C102A(別売品)を、
最大2台まで接続できます。

- 予備出力モード設定スイッチ⑳により、
リモートマイクに出力するモニター音声
を設定します。

機能 設定	トークB	トークA	出力音声
	ON	ON	すべての音声を出力 (トークA+トークB1～B4 ミキシング 音声)
	ON	OFF	トーク B1～B4 ミキシング 音声のみ出力
	OFF	ON	トークA 音声のみ出力
	OFF	OFF	音声出力なし



●使用線種

予備出力を使用する場合……6 ϕ アシールドケーブル
予備出力を使用しない場合…5 ϕ アシールドケーブル

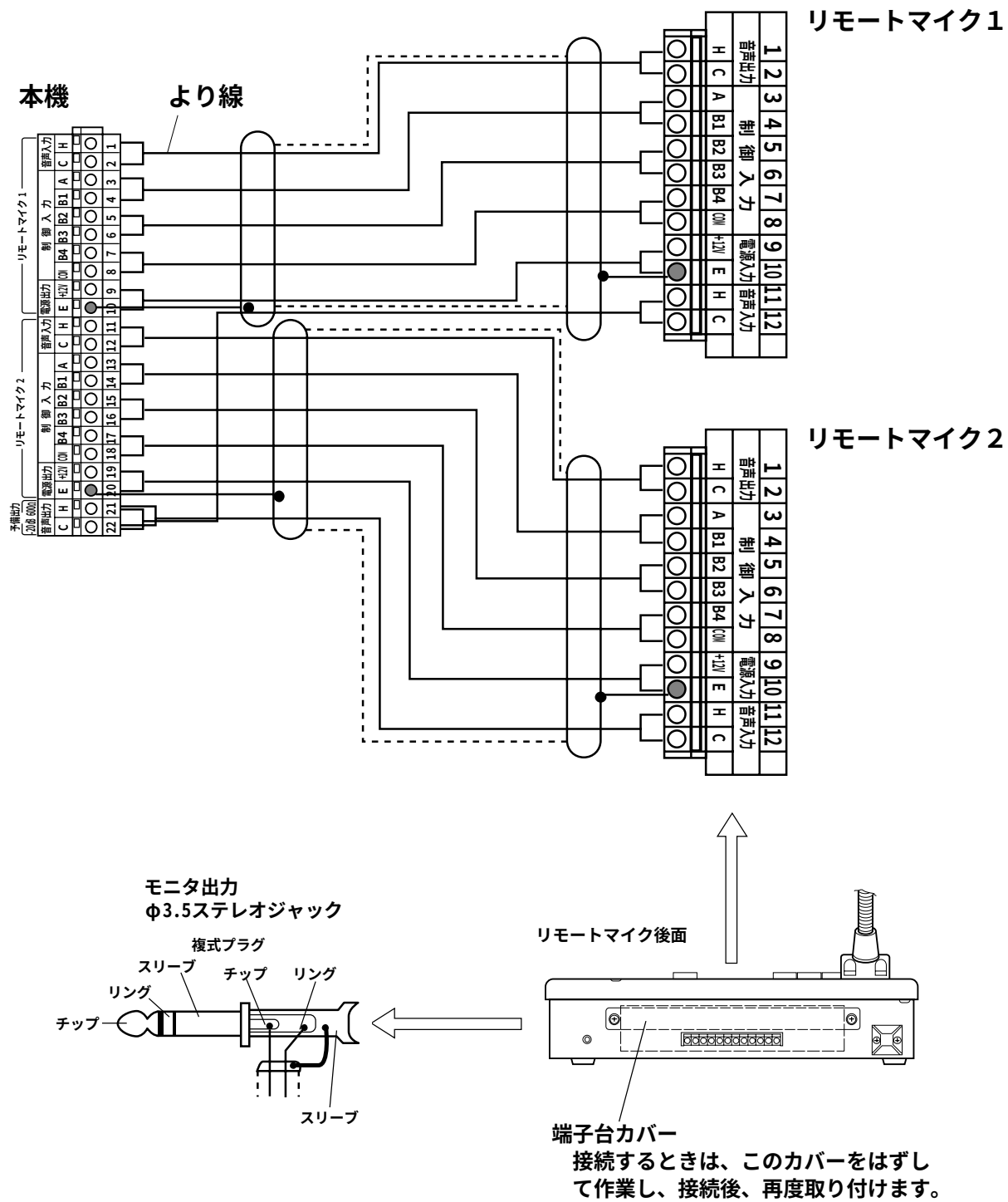
●ケーブル線種と接続長

AWG22 ～AWG16 …………… 100 m

●端子台適合電線

適合電線	単 線 $\phi 1.2$ (AWG 16)
	より線 1.25 mm^2 (AWG 16)
使用可能電線範囲	単 線 $\phi 0.4$ (AWG 26) $\phi 1.2$ (AWG 16)
	より線 0.3 mm^2 (AWG 22)～ 1.25 mm^2 (AWG 16) 素線径 $\phi 0.18$ 以上
標準むき線長さ	11 mm
ボタン操作用適合工具	マイナスドライバ(軸径 $\phi 3$,刃先巾 2.6)

●接続のしかた



・詳しくは、リモートマイクTM-C102A の取扱説明書をご覧ください。

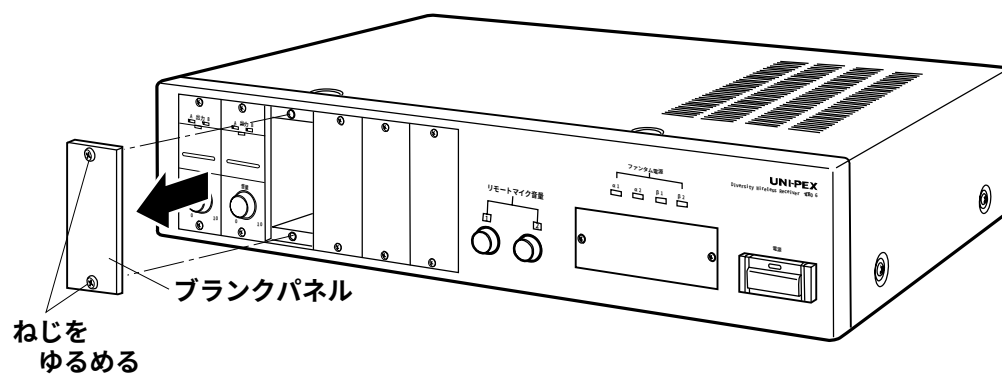
チューナユニットの取り付け

本機にチューナユニット DU-C800(別売品)を取り付けます。

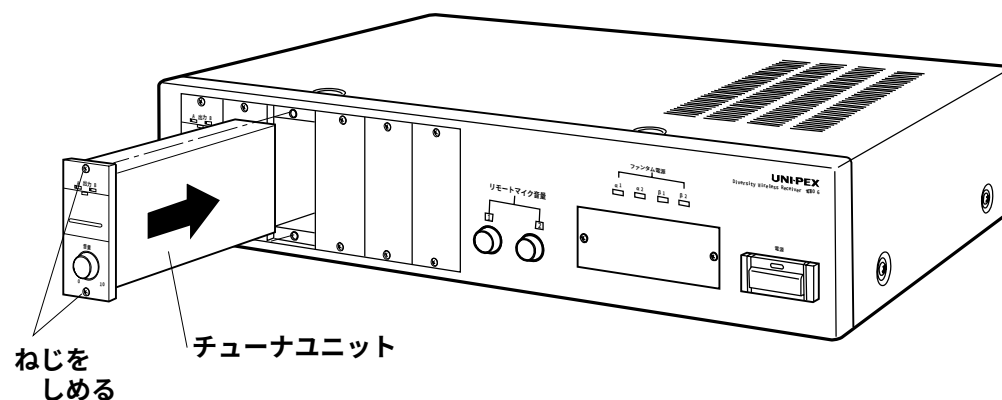
お願い

- 必ず電源を切ってから、おこなってください。
- チューナユニットを取り付ける際は、静電気などに充分注意し、慎重におこなってください。
- チューナユニットの上下を必ずご確認ください。

- 1 ねじ(2ヶ所)をゆるめて、ブランクパネルを取りはずします。

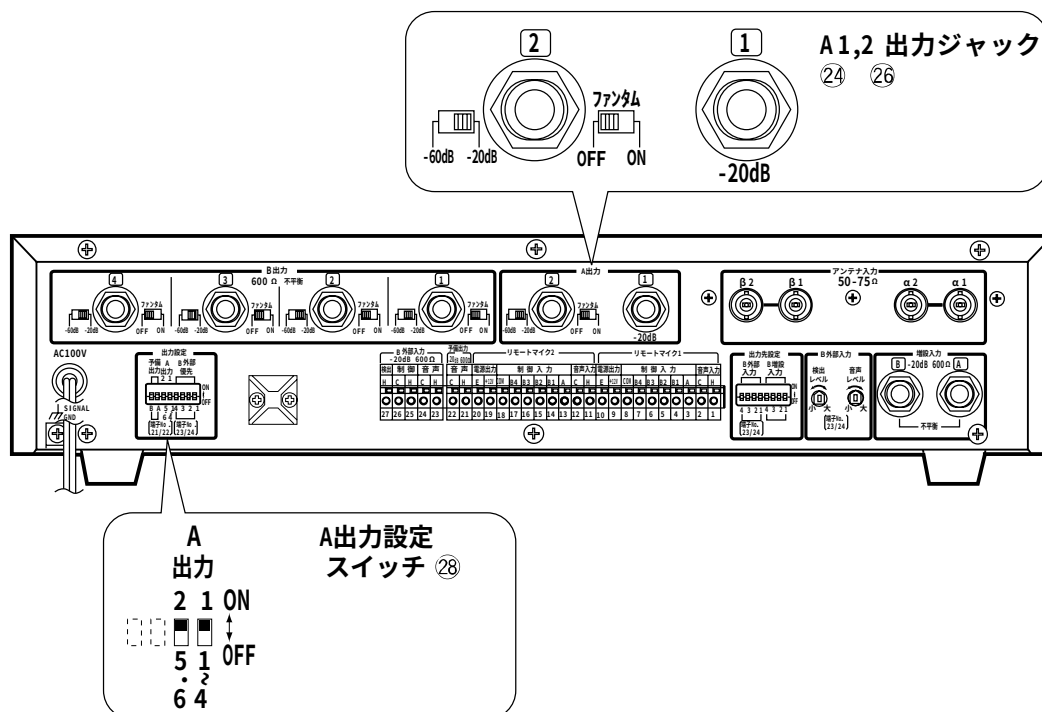


- 2 チューナユニットをはめこみ、ねじ (2ヶ所) をしめて取り付けます。



A 出力について

A 出力は2系統出力できます。



●A1 出力ジャック

- ・ -20 dB 600 Ω 不平衡
- ・ A 出力設定スイッチ²⁸により、出力音声を切り換えできます。

●A2 出力ジャック

- ・ -20 dB/-60 dB 切換 600 Ω 不平衡
- ・ ファンタム電源 ON/OFF 切換
- ・ A 出力設定スイッチ²⁸により、出力音声を切り換えできます。

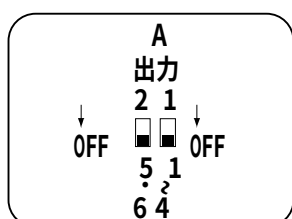
●A 出力設定スイッチ²⁸

- ・ 工場出荷時は、A1, A2 ともに"ON"に設定されていますので、A1, A2 共通の音声を出力します。
- ・ チューナユニット5、6のみをカウンタ拡声、チューナユニット1～4、リモートマイク1、2を場内拡声に使用する場合は、以下の設定にします。

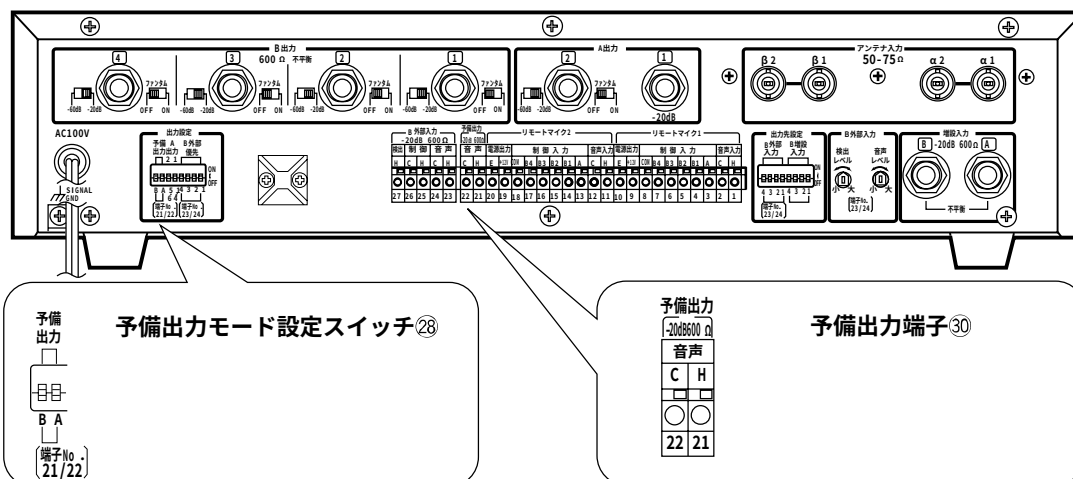
音声入力	チューナユニットA部						リモートマイクA音声		増設入力A音声
	1	2	3	4	5	6	1	2	
A1出力設定 1 ON	○	○	○	○	○	○	○	○	○
1 OFF	×	×	×	×	○	○	×	×	×

音声入力	チューナユニットA部						リモートマイクA音声		増設入力A音声
	1	2	3	4	5	6	1	2	
A2出力設定 ON	○	○	○	○	○	○	○	○	○
OFF	○	○	○	○	×	×	○	○	○

○：音声出力する。
×：音声出力しない。



予備出力について



●予備出力端子

- 20 dB 600 Ω 不平衡
- 予備出力モード設定スイッチ⑳により、出力する音声を切り換えできます。
- リモートマイクを使用する場合は、リモートマイクに接続します。
(26,27 ページ参照)

スイッチ表示	B	A	予備出力の音声
機能	トークB	トークA	
設定	ON	ON	すべての音声を出力 (トークA+ トークB1 ～B4 ミキシング 音声)
	ON	OFF	トーク B1 ～B4 ミキシング 音声のみ出力
	OFF	ON	トークA 音声のみ出力
	OFF	OFF	音声出力なし

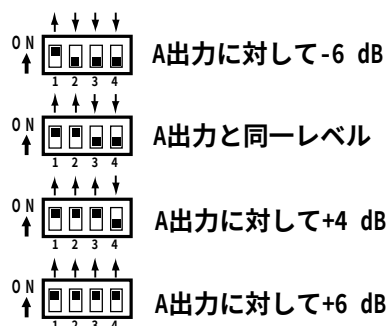
●予備出力レベル

予備出力は、B1 ～B4 の音声をミキシングするため、設定によってレベルが変化します。

トークB 音声出力モード設定スイッチ⑪の設定と出力レベルを右図に示します。

予備出力接続機器側のレベルを調整してください。

[例]チューナユニット1



B 外部入力、優先機能について

B 外部入力は、ワイヤレスマイク以外の音声入力をB1,B2,B3,B4 にミキシング出力するための外部入力端子です。

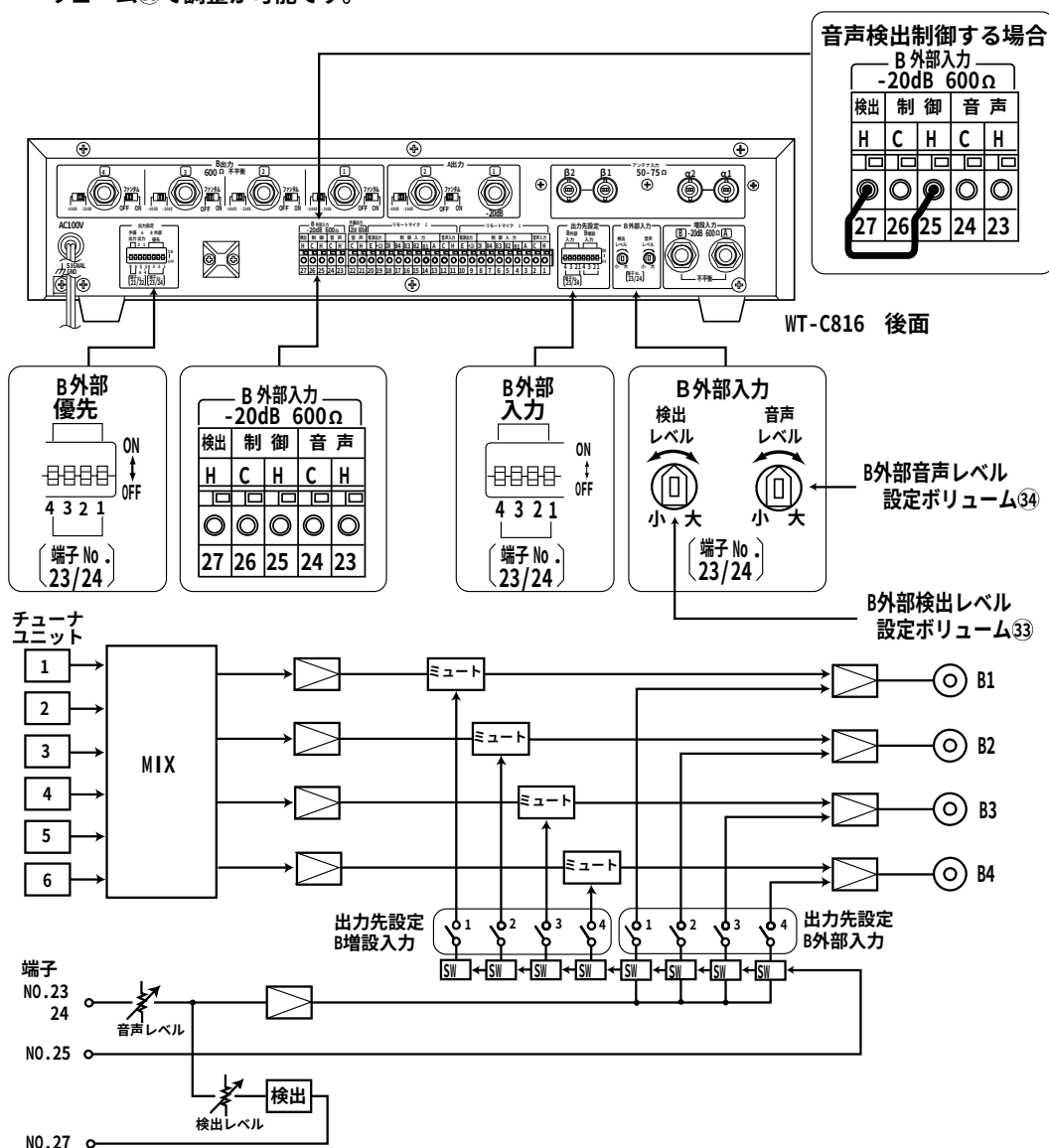
- 音声レベル調整が可能です。B 外部音声レベル設定ボリューム^{③④} (工場出荷時は最大に設定)
- 音声出力先 (B1,B2,B3,B4) を選択できます。B 外部入力設定スイッチ^{③①} ON/OFF (表1 32ページ参照)
- ワイヤレスマイクのトークB 音声とミキシングするか、B 外部音声入力時にワイヤレスマイク音声を減衰してB 外部音声を優先して出力することができます。

B1,B2,B3,B4 それぞれミキシングか優先かを選択できます。

B 出力優先設定スイッチ^{②⑨} (表2 32 ページ参照)

- 通常は外部入力制御端子が「L」の場合、B 外部音声を出力または優先制御しますが、音声検出機能を内蔵しているため、音声信号により、出力または優先制御できます。

端子台No.27 検出と端子台No.25 制御をショートした場合、検出レベルは、B 外部検出レベル設定ボリューム^{③③}で調整が可能です。



B 外部入力、優先機能について

●B 外部入力端子

●-20 dB 600 Ω 不平衡

機能	B4	B3	B2	B1	制御入力端子 No.25	B 外部入力音声の出力先 B1～B4 出力音声
設定	ON	ON	ON	ON	L	B1～B4 すべて出力
	ON	OFF	OFF	OFF		B4 のみに出力
	OFF	ON	OFF	OFF		B3 のみに出力
	OFF	OFF	ON	OFF		B2 のみに出力
	OFF	OFF	OFF	ON		B1 のみに出力
	-	-	-	-	H	音声出力なし

[表]

※ L: 端子No.26 制御 COM と、No.25 制御 H ショート
H: 端子No.26 制御 COM と、No.25 制御 H オープン

●B 出力優先設定スイッチ②⑨により、他の音声を減衰して、優先音声を他の音声より優先して出力することができます。

機能	B4	B3	B2	B1	制御入力端子 No.25	B 優先入力音声の出力先 B1～B4 出力音声
設定	ON	ON	ON	ON	L	B1～B4 の他の音声を減衰し、優先音声のみを出力
	ON	OFF	OFF	OFF		B4 のみ他の音声を減衰し、優先音声のみを出力 B1～B3 は他の音声と優先音声ミキシング出力
	OFF	ON	OFF	OFF		B3 のみ他の音声を減衰し、優先音声のみを出力 B1, B2, B4 は他の音声と優先音声ミキシング出力
	OFF	OFF	ON	OFF		B2 のみ他の音声を減衰し、優先音声のみを出力 B1, B3, B4 は他の音声と優先音声ミキシング出力
	OFF	OFF	OFF	ON		B1 のみ他の音声を減衰し、優先音声のみを出力 B2～B4 は他の音声と優先音声ミキシング出力
	-	-	-	-	H	B1～B4 他の音声のみ出力

[表]

※他の音声とは、優先音声以外のすべての音声です。減衰量約 20 dB
※ L: 端子No.26 制御 COM と、No.25 制御 H ショート
H: 端子No.26 制御 COM と、No.25 制御 H オープン

故障と思われましたら

修理を依頼される前に、以下の内容をご確認ください。

確認してもなお異常があるときは、必ず電源を切ってから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

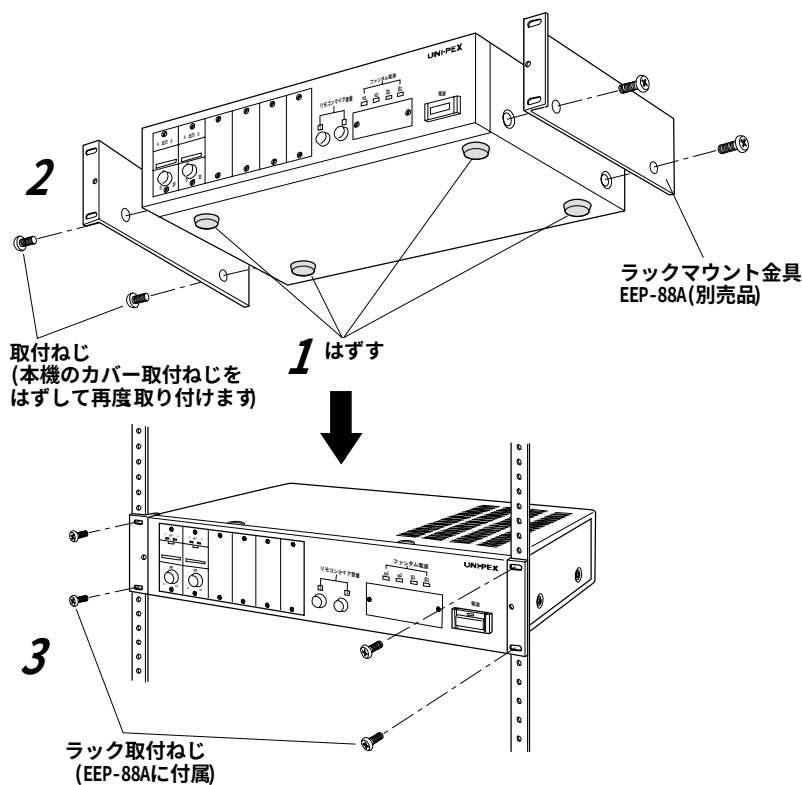
症 状	確認していただく内容
電源スイッチを「入」にしても、電源が入らない。	電源プラグがコンセントに確実に差し込まれていますか。
受信しない。	●ワイヤレスマイクのトークスイッチを押していますか。 ●ワイヤレスマイクの充電電池/乾電池は消耗していませんか。 ●受信するグループおよびチャンネルは、ワイヤレスマイクと同じですか。
トークAは音声出力するが、トークBは音声出力しない。	トークB 音声出力モード設定スイッチ①は、「ON」に設定されていますか。

ラックマウントのしかた

ラックマウント金具 EEP-88A(別売品)を使って、EIA規格相当のラックに取り付けることができます。

お願い

- パワーアンプと一緒にラックマウントする場合は、パワーアンプと本機との間を1U以上あけて取り付けてください。
- 上下に取り付ける機器の発熱量に注意し、本機の使用温度範囲を超えないように、通風や換気を良くしてください。

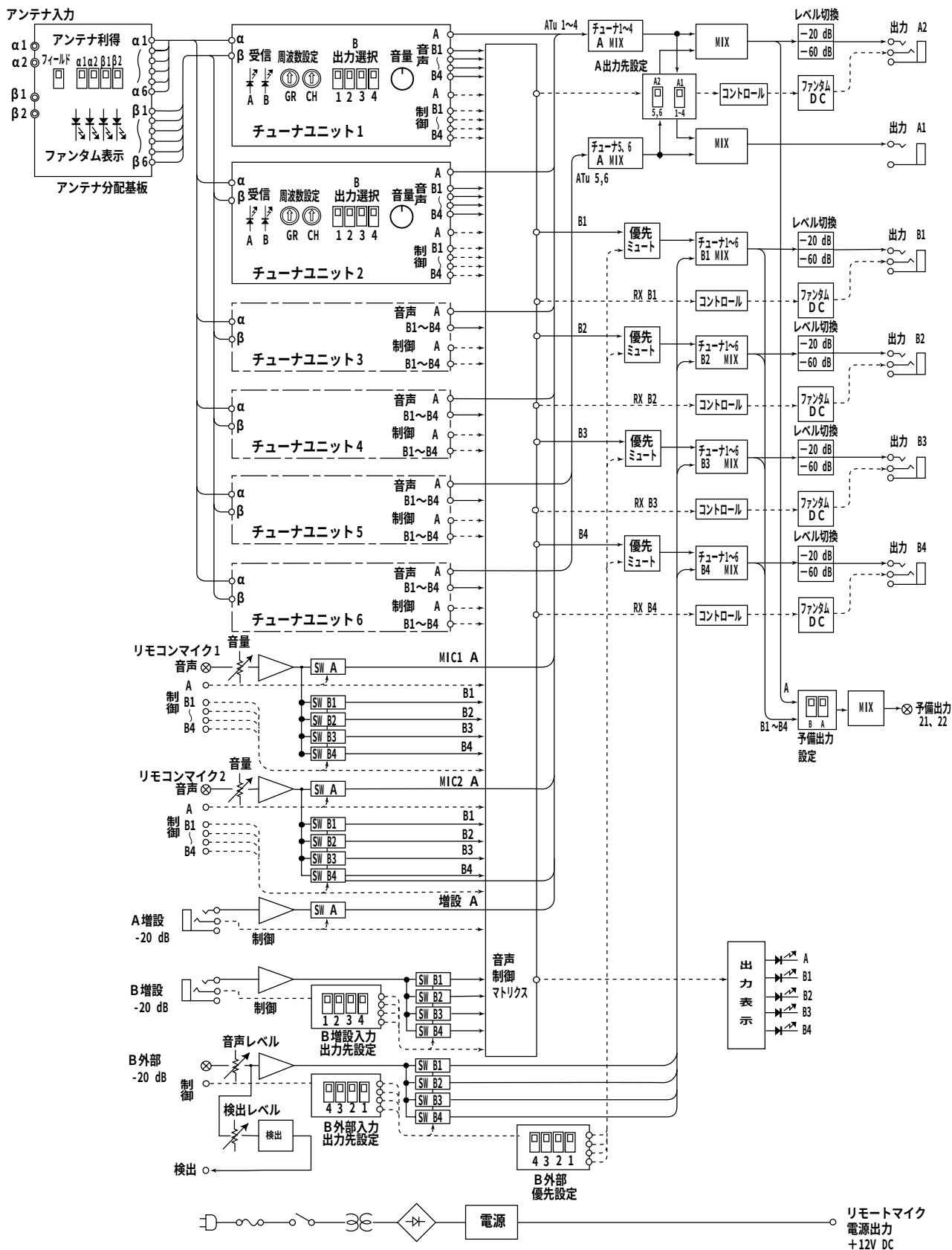


1 ドライバを使い、ゴム足(4カ所)をはずします。

2 カバー側面の取付ねじをはずして、本機の両端にラックマウント金具(別売品)を取り付けます。
取付ねじ(4本)で確実に固定してください。

3 本機をラックに取り付け、ラック取付ねじ (EEP-88A に付属) で固定します。

ブロックダイアグラム



定格

●基本仕様

電源	AC 100 V 50/60 Hz
消費電力 (注)	38 W
周囲温度	-10℃～+50℃
寸法	420(幅)×88(高さ)×291(奥行) ※高さはゴム足含まず。奥行は突起部含まず。
質量	約6.7 kg

(注) 電気用品安全法技術基準に基づく表示です。

●受信部

アンテナ入力	50 Ω～75 Ω 2系統 2回路 BNC コネクタ AA-C801、AA-C802 用ファンタム電源出力 DC12 V 70 mA 最大 (ファンタム電圧による利得切換 3ポジション)
受信周波数	806.125～809.750 MHz 30波中2波 チューナユニット DU-C800 を4台増設で6波受信可能
受信方式	PLL 制御ダブルスーパーヘテロダイン方式
受信感度	45 dB以上(20 dBμV 入力,±5 kHz FM にて)
スケルチ感度	20 dB μV以下
トーンスケルチ	トークA : 32.736 kHzトークB : 32.800 kHz
S / N 比	50 dB 以上(50 dBμV 入力,±5 kHz FM 時)
ひずみ率	3 % 以下
周波数特性	100 Hz～10 kHz(1 kHz基準 50 μs エンファシス)

●表示機能

ファンタム電源表示	α1,α2,β1,β2	緑 : 正常供給状態 赤 : 異常状態 短絡時 消灯 : 無接続または異常状態 断線時、アンテナ混合器使用時
受信表示	トークA ,トークB	赤 : 受信時連続点灯
音声出力表示	トークA ,トークB1～B4	赤 : 音声出力時連続点灯 保護パネル内

●音声出力

トークA1	-20 dB 600Ω 不平衡 単頭プラグ チューナユニット5,6のみ出力選択可能
トークA2	-20 dB/-60 dB 切換式) 600Ω 不平衡 複式プラグ ファンタム電源出力 DC7.5 V 65 mA (ON/OFF スイッチ切換) チューナユニット5,6のみミュート選択可能
トークB1～B4	-20 dB/-60 dB 切換式) 600Ω 不平衡 複式プラグ ファンタム電源出力 DC7.5 V 65 mA (ON/OFF スイッチ切換)
予備出力	-20 dB 600Ω 不平衡 端子台 21,22 Aのみ,Bのみ,A+B ミキシング出力可能

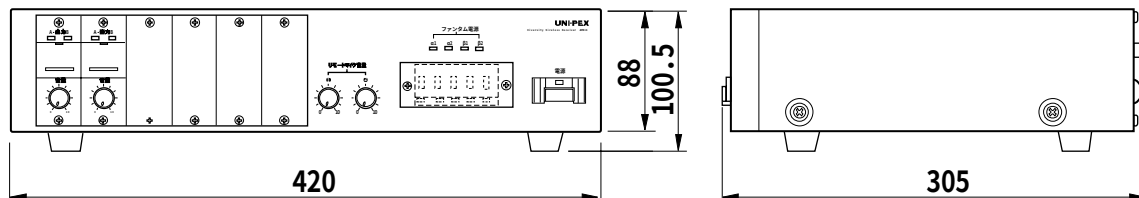
●音声入力

リモートマイク1入力	-20 dB 600Ω 不平衡 端子台 1,2 A,B1～B4 出力先選択可能
リモートマイク2入力	-20 dB 600Ω 不平衡 端子台 11,12 A,B1～B4 出力先選択可能
増設入力 A	-20 dB 600Ω 不平衡 複式プラグ 音声制御可能
増設入力 B	-20 dB 600Ω 不平衡 複式プラグ B1～B4 選択可能 音声制御可能
B 外部入力	-20 dB 600Ω 不平衡 端子台 23,24 音声レベル調整可能 B1～B4 出力先選択可能 B1～B4 優先選択可能 音声検出出力可能 端子台 27 検出レベル調整可能

●仕上げ

パネル	ABS 樹脂(マンセル N1 近似色 黒)
カバー	ビニールラミネート鋼板(マンセル N1 近似色 黒)

外観寸法図 (単位mm)



連絡先のご案内

修理・お取扱い・お手入れについてのご相談ならびにご依頼はお買い上げの販売店にお申し付けください。
販売店に修理を依頼する場合は下記の項目をお確かめください。

①品 名 ②品 番 ③お買い上げ日 ④故 障 の 状 況 (できるだけ具体的にお願いします)

ご転居されたり、ご贈呈品などで販売店に修理のご相談ができない場合は最寄りの下記弊社営業所にご相談ください。

札幌営業所	〒064-0811	札幌市中央区南1条西 10-2-17	TEL.(011)511-5505(代)	FAX.(011)511-5529
釧路営業所	〒085-0025	釧路市宝町 3-8	TEL.(0154)25-3156(代)	FAX.(0154)25-6261
仙台営業所	〒984-0015	仙台市若林区卸町 3-6-11	TEL.(022)232-1295(代)	FAX.(022)232-1297
東京営業所	〒110-0008	東京都台東区池之端 2-3-17	TEL.(03)3821-3721(代)	FAX.(03)3827-5423
新潟営業所	〒950-0922	新潟市山二ツ 4-6-19	TEL.(025)287-3611(代)	FAX.(025)287-3613
金沢営業所	〒920-0362	金沢市古府 1-190	TEL.(076)240-4577(代)	FAX.(076)240-6737
静岡営業所	〒422-8037	静岡市下島 152-5	TEL.(054)238-1446(代)	FAX.(054)238-1453
名古屋営業所	〒466-0051	名古屋市昭和区御器所 1-3-29	TEL.(052)871-1671(代)	FAX.(052)872-4128
大阪営業所	〒556-0005	大阪市浪速区日本橋 4-2-7	TEL.(06)6632-2855(代)	FAX.(06)6644-1624
岡山エリア連絡先			TEL.(086)244-2317(代)	FAX.(086)244-4461
高松営業所	〒760-0079	高松市松縄町 525-1-203	TEL.(087)868-1181(代)	FAX.(087)868-1331
広島営業所	〒730-0016	広島市中区幟町 5-29	TEL.(082)222-5511(代)	FAX.(082)222-5513
福岡営業所	〒810-0074	福岡市中央区大手門 3-9-15	TEL.(092)721-5000(代)	FAX.(092)721-5089
鹿児島営業所	〒890-0052	鹿児島市上之園町 8-12	TEL.(099)250-0220(代)	FAX.(099)257-3327

ユニペックス株式会社

本社/営業本部 〒573-1132 大阪府枚方市招提田近 3-6
お客様相談窓口 (CS課) TEL.(072)855-3334